

Joie™

ECE R129 適合

適応身長 40cm から 105cm まで

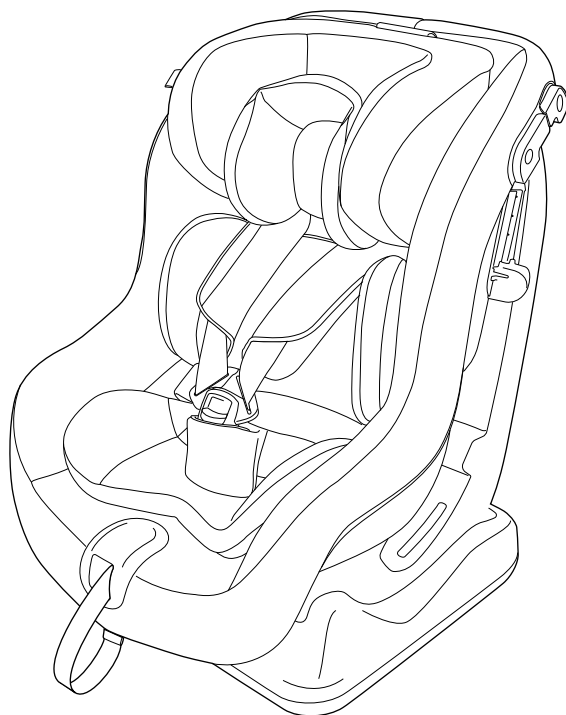
適応体重 18kg まで

ジョイー・チャイルドシート

Stedi™ R129

ステディR129

取扱説明書 / 保証書

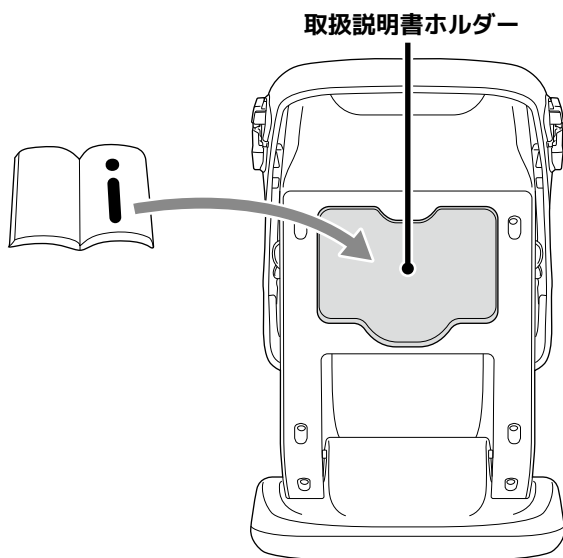


JP Welcome to Joie™

ジョイーチャイルドシートをお求めいただき、誠にありがとうございます。
本製品は、自動車の座席に取り付けて使用するチャイルドシートです。

本製品は、最新の欧州基準に適合するチャイルドシートですが、使用方法を誤ると、所定の安全性能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方や保護者の方の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

安全に本製品をご使用いただくため、あらかじめ本取扱説明書を熟読し、内容を十分にご理解した上で本製品をご使用ください。本取扱説明書は、本製品背面の取扱説明書ホルダーに大切に保管し、必要なときにいつでも取り出して参照できるようにしておいてください。



もくじ

はじめにお読みください	4
ユーザー登録のお願い	4
チャイルドシートについて	4
使用に関するアドバイス	4
自動車との適合について	5
本製品の重要な情報	5
表記の説明	6
内容物の確認	7
各部の名称	8
使用できるお子さまの条件	10
自動車の座席への取り付けに関して	13
取り付け、使用可能な座席の位置と向き	13
取り付け、使用できない座席	14
シートベルトの種類	17
使用上の注意事項	18
緊急時の操作	28
基本的な使いかた	29
バックルの使いかた	29
ハーネスの長さ調節	31
ヘッドサポート・肩ベルトの高さ調節	32
インファントインサート	33
リクライニング機構	38
自動車の座席への取り付け	40
後ろ向き取り付け	41
前向き取り付け	48
お子さまの乗せかた	57
後ろ向き取り付けで使用する	57
前向き取り付けで使用する	64
お手入れのしかた	71
パッド類、カバー類、インファントインサートの取り外し	71
パッド類、カバー類、インファントインサートを取り付け	79
縫製品のお手入れ	79
シェル、ベースのお手入れ	81
保管のしかた	83
廃棄のしかた	83
保証書	87

はじめにお読みください

ユーザー登録のお願い

チャイルドシートをご使用いただくにあたって、国土交通省推奨によるユーザー登録へのご協力をお願いいたします。本製品は、日本国内での使用が認められている UN/ECE 規則のチャイルドシート基準である ECE 基準に適合しています。本製品は、当該基準に適合するよう万全の注意をもって製造されていますが、万が一基準に適さない製品が発生し、かつその製品が出荷されてしまった場合、直ちにその製品を入手されたお客様にご連絡を差し上げ、対象となった製品を修理する必要があります。

このような場合に、迅速にお客様に情報をお伝えし適切に対応できるよう、お客様にはユーザー登録をお願いしています。

お預かりしたお客様の個人情報、弊社が管理し、お客様の承諾を得ない限り、この緊急の連絡の目的以外には利用いたしません。

チャイルドシートについて

チャイルドシートは、適切に使用することにより、**万が一の交通事故の際や自動車の急制動（急発進・急停止・急なハンドル操作など）によって生じる、お子さまへの負担や衝撃を軽減することを目的としているものであり、お子さまを交通事故や急制動により生じる負担や衝撃から無傷で守る事を保証する製品ではありません。**

また、チャイルドシートが正しく取り付けられていなかったり、お子さまがチャイルドシートに正しく固定されていなかったり、チャイルドシートにおいて規定される条件に、適さない状態でチャイルドシートを使用したりすると、交通事故や急制動時に本製品が所定の性能を発揮できないばかりか、お子さまの安全のみならず、他の同乗者の安全にも重大な影響をおよぼすおそれがあります。

本製品を使用するにあたっては、本取扱説明書の記載内容および本製品本体の表記、ならびにお使いになるお車の取扱説明書の指示を理解し、その内容に従って、常に正しくご使用ください。

また、どれほど短い距離、どれほど短時間のドライブであろうとも、本製品を常に正しくご使用いただくとともに慎重で安全な運転を心がけるようにしてください。

使用に関するアドバイス

お子さまのチャイルドシートの使用を習慣付けるようにしてください。

また、大人の方も必ずシートベルトを着用するようにしてください。

長距離を走る場合、最低でも 1 時間おきに休憩をとり、お子さまをシートから降ろしてあげるようにしてください。

本製品はお子さまの成長、発達、着衣の状態に応じて調節できる部位、部品があります。常にお子さまの体型や着衣の状態に応じて適切に調節するように心がけてください。

事故時や緊急事態時には、直ちに応急処置を行い、医療機関にご相談ください。

自動車との適合について

本製品はECE R129/03 規格に適合したチャイルドシートです。

本製品は自動車の3点式シートベルトによって座席に固定して使用する製品となります。主として自動車の取扱説明書において「ユニバーサル・シートポジション」と記載されている座席に取り付けて使用することができますが、すべての車両、座席に取り付け可能とは限りません。

本製品を取り付けて使用することができる車種、座席は弊社の発行する「車種適合一覧」に記載されています。

車種適合一覧は適宜更新されていますので、以下のホームページよりご確認ください。

カトージ ホームページ

katoji.co.jp

危険

適合車種一覧において取り付け不可とされている座席では使用しないこと

本製品はユニバーサル・シートポジションと記載されているほとんどの座席において使用することができますが、すべての車種、座席に取り付けて使用できるとは限りません。適合車種一覧において取り付け不可とされている座席では本製品が安全に機能しないおそれがありますので取り付け、使用しないでください。

本製品の重要な情報

本製品は汎用ベルト固定改良型年少者用補助乗車装置です。本製品の適合する基準 ECE R129 によって、主として「ユニバーサル・シートポジション」と自動車の取扱説明書において指定されている座席での使用が可能です。（すべての車両、座席で取り付けが可能とは限りませんので、必ず適合車種一覧をご確認ください）

ご不明点がある場合には、チャイルドシートの製造業者または、取扱販売店にお問い合わせください。




主な原材料	樹脂・金属・繊維
パテント番号	特許出願中

表記の説明



本取扱説明書では、本製品を使用するにあたって特にご注意・留意いただく事項を「危険」「警告」「注意」に区分し、強調して表記しています。

この表記に付随して記載されている内容を無視すると、本製品をご使用になるお子さまや保護者の方、また周りの方や物品に損害をおよぼすおそれがありますので、必ずこれらの内容を十分に理解した上でご使用ください。


危険・警告・注意の表記について

表記	表記の内容
 危険	この表記に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。
 警告	この表記に付随して記載されている内容を守らなければ、死亡または重傷に至ることがあり得ることを示します。
 注意	この表記に付随して記載されている内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

強調・禁止の表記について

表記	表記の内容
	この表記に付随して記載されている事柄は、正しい状態にあることを示します。
	この表記に付随して記載されている事柄は、誤った状態にあること、または禁止されていることを示します。

その他の表記について

表記	表記の内容
 ポイント!	この表記に付随して記載されている事項は本製品をご使用いただくにあたって知っておいていただきたいこと、また本製品をより便利に使用していただくための大切な情報ですので必ずご確認ください。

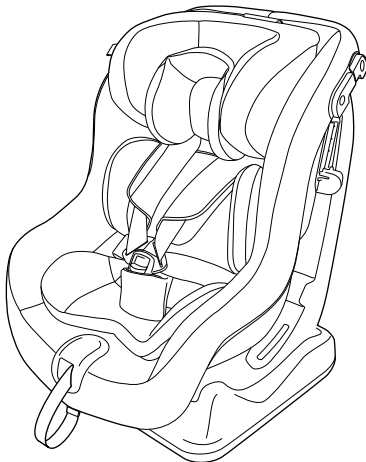
Stedi™ R129

本取扱説明書で使用するイラストについて

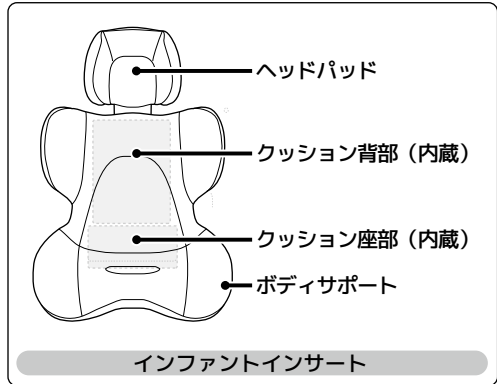
本取扱説明書で使用しているイラストはより理解しやすくするために、大きさの比率の変更、強調、誇張等をおこなっており、実際とは異なる部分があります。あらかじめご了承ください。

内容物の確認

本製品には、次のものが同梱されています。すべてのものが揃っていることを確認してください。万が一、足りないもの、破損しているものがある場合、そのままご使用にはならず、大変お手数ですが巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。



本体



※開封時、本体にすべて取り付けられています



本書



ユーザー登録はがき

警告

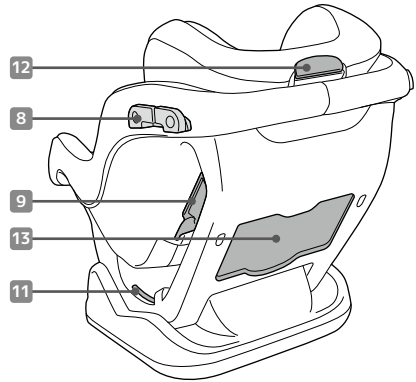
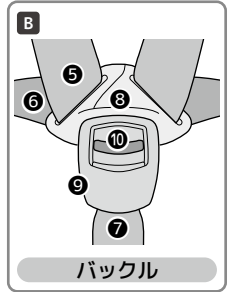
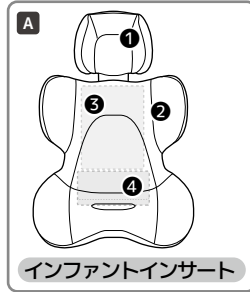
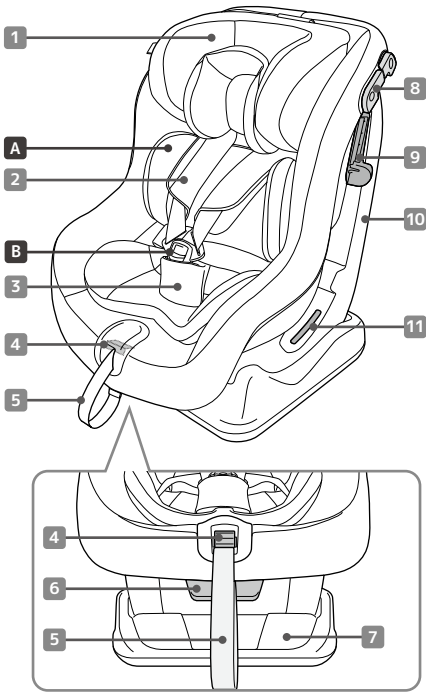
窒息のおそれがあります

お子さまがかぶり窒息するなど重大な事故につながるおそれがありますので本製品を梱包しているビニール袋類は、開梱後直ちに破るなどした上でお子さまの手の届かないところに廃棄してください。

各部の名称

本製品の各部の名称

本取扱説明書においては、本製品の各部位、各部品について次の通りの名称を用いています。本取扱説明書の記載内容の部位、部品に関して必要に応じてご確認ください。



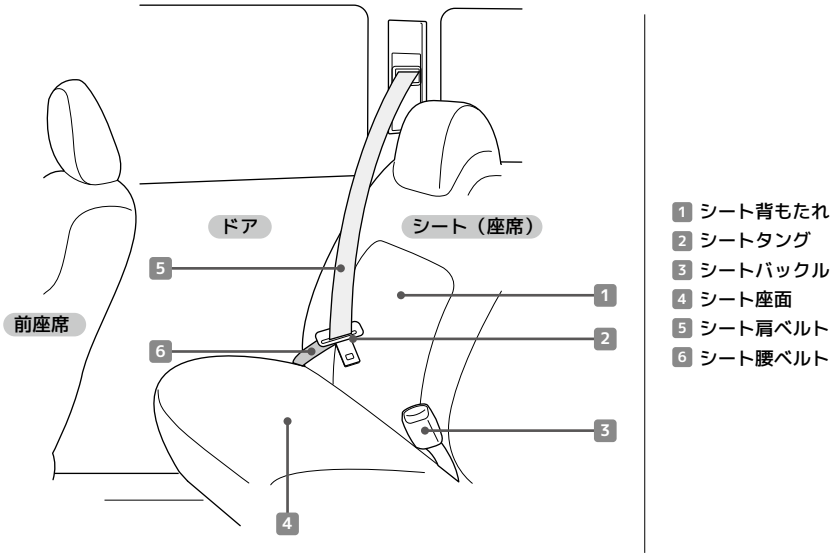
- 1 ヘッドサポート
- 2 肩ベルトパッド
- 3 股ベルトパッド
- 4 ベルトアジャスター
- 5 アジャスターベルト
- 6 リクライニングレバー
- 7 ベース
- 8 セイフティベルトスロット
- 9 ロックオフデバイス
- 10 シェル
- 11 腰ベルトパス
- 12 ヘッドサポートアジャストレバー
- 13 取扱説明書ホルダー

- A インファントインサート**
- ①ヘッドパッド
 - ②ボディサポート
 - ③クッション背部（内蔵）
 - ④クッション座部（内蔵）

- B バックル/ハーネス**
- ⑤肩ベルト } ハーネス
 - ⑥腰ベルト }
 - ⑦股ベルト
 - ⑧差込みタング
 - ⑨受けバックル
 - ⑩バックルリリースボタン

自動車に関わる各部の名称

本取扱説明書においては本製品を取り付ける自動車の座席の部位、部品に関して言及している箇所があります。本取扱説明書において自動車の部位、部品については以下の通りの名称を用います。



👉 ポイント！

お車の取扱説明書（オーナーズマニュアル）においては別の名称で記載されている場合があります。必要に応じて上図を参照してお車の取扱説明書の表記と照合するようにしてください。

使用できるお子さまの条件

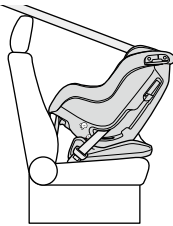
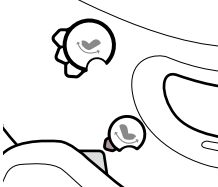
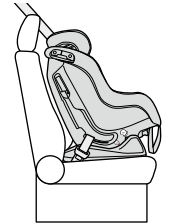

本製品を使用できるお子さまの範囲と条件は、本製品の適合するチャイルドシートの基準によって定められています。

本製品は身長 40cm～105cm まで、かつ体重 18kg までのお子さまに使用することができます。

本製品は、自動車の進行方向に対して前向きの座席に自動車の 3 点式シートベルトにより固定して使用します。

本製品は自動車の進行方向に対して「後ろ向き」または「前向き」に取り付けて使用しますが取り付けの向きによって使用できるお子さまの条件が異なり、リクライニングやインファントインサートの使用に関する条件も異なります。

それぞれの範囲にあてはまらない、また本取扱説明書に記載されている条件に適合しない場合は本製品を使用しないでください。

取り付けの向き	お子さまの条件	リクライニング	インファントインサート
 後ろ向き	身長40cm～105cm かつ 体重2.5kg～18kgまで 目安年齢 ^{*1} 新生児 ^{*2} ～4歳頃まで	 後ろ向きポジション 調節なし	お子さまの身長が60cmになるまでの間はすべてのインファントインサートを取り付けての使用を推奨します。 お子さまの成長、体格により窮屈になった場合はP12.「インファントインサートの使用」を参照して調節または取り外して使用してください。
 前向き	身長76cm～105cm かつ 生後15ヵ月を超えてから かつ 体重18kgまで 目安年齢 ^{*3} 4歳頃まで	 前向きポジション 3段階で調節可能	前向きでは使用できません。 インファントインサートを取り外してください。

※ 1. (後ろ向き取り付け時) 目安年齢はあくまでも目安です。身長および体重で使用できるお子さまの条件をご確認ください。

※ 2. ここでいう新生児とは、体重 2.5kg 以上かつ在胎週数 37 週以上で出生したお子さまを指します。

※ 3. (前向き取り付け時) 目安年齢の使用可能上限はあくまでも目安です。身長および体重で使用できるお子さまの条件をご確認の上、生後 15 ヶ月を超えてから前向き取り付けで使用することができます。

👉 ポイント!

身長 76cm かつ生後 15 ヶ月を超えたお子さまは本製品を前向きにして使用することができますが、後ろ向きの状態でも引き続き使用することができます。後ろ向きでの使用の方がより安全とされておりまして後ろ向きでの使用を推奨いたします。

⚠危険

お子さまの身長が 76cm かつ生後 15 ヶ月を超えるまでは絶対に前向きで使用しないこと

身長 76cm 以下、生後 15 ヶ月に満たないお子さまの場合、前向きの状態で使用すると事故や衝撃を受けた際にお子さまに重大な影響をおよぼすおそれがあり、また平常使用時においてもお子さまの健康に重大な影響をおよぼすおそれがあります。身長 76cm を超え、かつ生後 15 ヶ月を超えるまでのお子さまは本製品を前向きにせず、後ろ向きの状態でご使用ください。

リクライニングを正しく調節すること

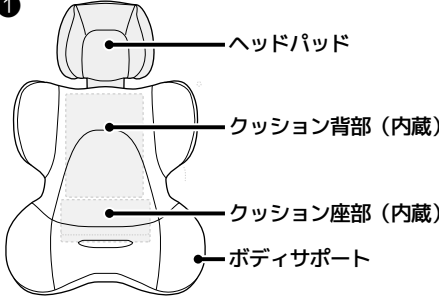
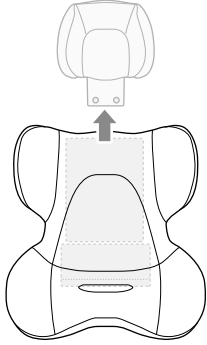
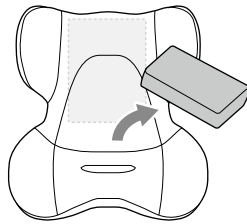
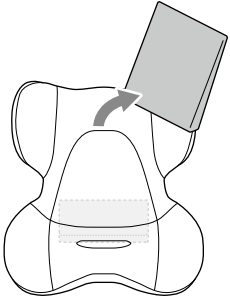
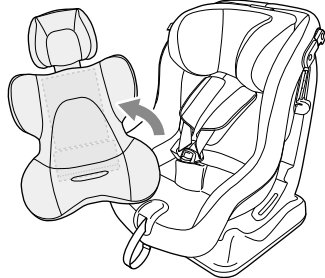
本製品では、リクライニング機構によりシェルの角度を変更することができます。後ろ向き、前向きにより使用できるシェルの角度が異なります。誤った角度で使用すると大変に危険ですので以下を参照して本製品の取り付けの向きに応じて正しく調節してください。

参照 P38-40 ▶リクライニング機構

インファントインサートの使用

より快適に安全にご使用いただくため本製品にはお子さまの成長や着衣の状態に合わせて着脱、調節できるインファントインサートが付属しています。インファントインサートの使用により横からの衝撃の安全性が高まるように設計されています。

下記を参照してインファントインサートを着脱し、調節してご使用ください。

<p>●身長60cmまで</p>	
<p>①</p> 	<p>お子さまの身長が60cmになるまでの間はすべてのインファントインサートを取り付けての使用を推奨します。 お子さまの成長、体格により窮屈になった場合はインファントインサートを調節または取り外して使用してください。</p>
<p>●身長60cmを超えてから</p>	
<p>②</p>  <p>頭部が窮屈な状態になったらヘッドパッドを取り外してボディサポート（クッション）のみで使用してください。</p>	<p>④</p>  <p>身体が窮屈な状態になったらクッション（座部）を取り外して、ボディサポートのみの状態で使用することができます。</p>
<p>③</p>  <p>身体が窮屈な状態になったらクッション（背部）を取り外して、ボディサポートのみの状態で使用することができます。</p>	<p>⑤ 前向きにして使用する場合は身体が窮屈な状態になったらすべてのインファントインサートを取り外してください。</p> 

自動車の座席への取り付けに関して

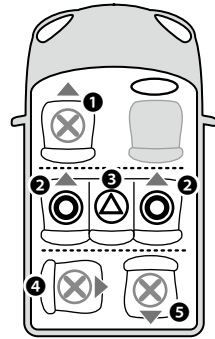
本製品は自動車の座席の3点式シートベルトによって固定して使用します。自動車の取扱説明書において「ユニバーサル・シートポジション」と指定されている座席で使用することができますが、条件によっては使用できない場合がありますのでご注意ください。本製品を取り付け可能な自動車と座席の情報については適合車種一覧を参照してください。

参照 P5 ▶自動車との適合について

取り付け、使用可能な座席の位置と向き

- ① 助手席 取付使用不可
- ② 後列左右ドア側席 取付使用可能
- ③ 後列中央席 条件付使用可
- ④ 進行方向横向きの座席 取付使用不可
- ⑤ 進行方向後ろ向きの座席 取付使用不可
- ⑥ 3列目以降の座席 条件付使用可

②および③については、3点式シートベルトを装備している場合は取り付けできる可能性があります。ただし3点式シートベルトを装備していても補助席の場合や座席の幅、長さ、シートバックルの位置などの条件によっては取り付けができない場合があります。



⚠危険

取り付け条件を守ること

上記のシート（座席）すべてに取り付け、使用可能とは限りません。

上記は座席の位置と向きについて使用の可否を記載したものです。この位置と向きであり、かつその他の条件を満たした座席でのみ取り付けが可能です。

取り付け、使用できない座席

本製品は、すべての自動車のすべてのシート（座席）で使用できるものではありません。本製品を取り付けて使用できる自動車、座席の情報については、お車の取扱説明書と適合車種一覧を参照してください。

⚠危険

以下に示すシート（座席）では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

フロントエアバッグを装備している座席

フロントエアバッグが作動すると、重大な事故につながるおそれがあります。フロントエアバッグを装備している座席では使用しないでください。特に後ろ向きでの使用時には非常に危険です。

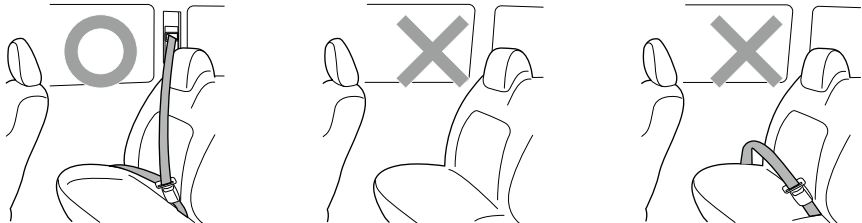


助手席

助手席には、本製品を取り付けて使用しないでください。本製品は、より安全な後部座席に取り付けて使用してください。

3点式シートベルト以外の座席

本製品は3点式シートベルトによる取付専用のチャイルドシートです。座席シートベルトが装備されていない座席はもちろん、2点式シートベルト、5点式シートベルトでは使用できません。必ず3点式シートベルトが装備された座席で使用してください。

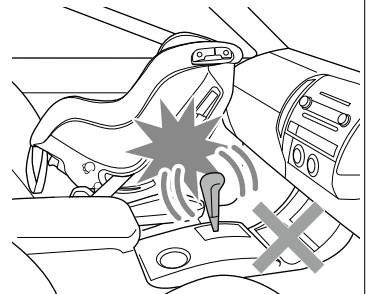


適合車種一覧で取り付け、使用不可となっている車種または特定の座席

本製品の適合車種一覧で、取り付け、使用不可となっている車種または特定の座席（適合車種でもすべての座席で取り付け可能とは限りません）では使用できません。

本製品の取り付けにより、自動車の重要な操作に支障をきたす座席

本製品を取り付けることにより自動車の操作に影響をおよぼさない事をあらかじめ確認した上で、取り付け、使用してください。また実際にご使用になる前に非常時や緊急時を想定して、本製品を取り付けることによって自動車の重要な操作に影響をおよぼさないことを確認してください。



⚠危険

以下に示すシート（座席）では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

本製品を安定して設置できない座席

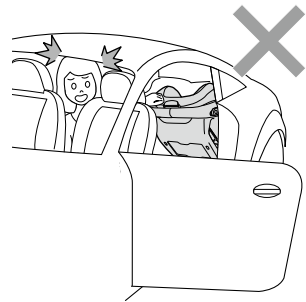
極端な凸凹がある座席、幅や奥行きが極端に狭い座席、座面が極端に傾斜した座席、本製品を取り付けるとドアやコンソールなど座席以外の構造物に本製品が接触する座席、座席の可動操作に干渉する場合、本製品のベースが浮く極端な角度の座席では、本製品が安定しないため取り付けることができません。また適合車種でも限定モデルや中古車の場合には、特殊な座席が付いていたり、座席そのものが交換されている場合もあります。これらの場合、本製品が安定して設置できないこともあります。



乗員の脱出に影響を与える座席

片開きドアのワンボックスカーのドア側の座席など、本製品を使用することにより、他の乗員が緊急時に自動車から脱出しにくくなるおそれがある座席では使用しないでください。

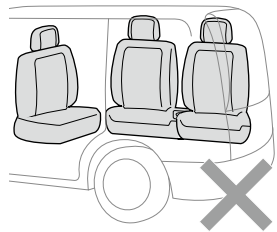
実際に本製品を使用する前に緊急時を想定して使用しようとする座席の上に本製品を置き、その状態ですべての座席から他の乗員が容易に乗降できるかどうか、また緊急時にお子さまを迅速に脱出させることができるかをあらかじめ確認してください。



進行方向に対して前向き以外の座席

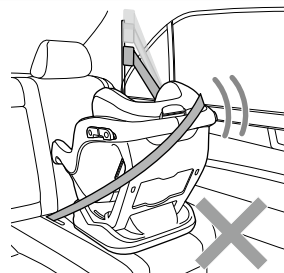
本製品は、車の進行方向に向かって前向きの座席にのみ取り付け使用することができます。車の進行方向に向かって後ろ向きや横向きの座席では使用できません。

また車の進行方向に向かって前向きでも、補助席などの特別な座席やバス、電車、飛行機、船などの座席にも取り付け使用できません。



パッシブシートベルトが装備された座席

ドアを閉めると自動的にシートベルトが装着される、パッシブシートベルトが装備された座席では本製品を使用できません。

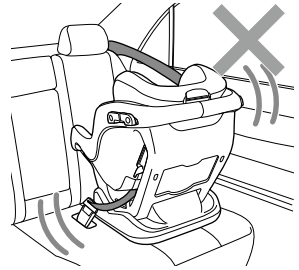


⚠危険

以下に示すシート（座席）では絶対に使用してはいけません。この指示を守らないと、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じます。

その他、しっかりと取り付けられない座席や取り付け作業中に動く座席

取扱説明書にしたがってもしっかりと固定できない、安定しない、本製品の角度等に異常がある、ぐらつきがある、取り付け作業中に動く座席など、正常に取り付け、使用ができない座席では使用しないでください。



自動車のドアの開閉操作や可動式シートの操作に干渉しないようにすること
自動車の操作に影響を与えるだけでなく、本製品の破損や本製品の取り付けの状態に影響をおよぼすおそれがあります。

シートベルトの種類

本製品は3点式シートベルトを使用して自動車の座席に固定します。

あらかじめ3点式シートベルトの種類を確認してください。

座席の形状に問題がなくシートバックルの位置などの条件を満たしている場合、近年の国産車においてはほとんどの場合問題なく使用することができますが、3点式シートベルトの種類によっては正しく固定できない場合があります。

次の表の説明を参考にして、使用しようとする自動車の取扱説明書を確認するか、または自動車のメーカー、お買い求めになった自動車の販売店に問い合わせるなどして、装備されている3点式シートベルトの種類を確認してください。

シートベルトの種類	特徴	取り付け上の注意点
ELR 緊急ロック式 ベルト巻き取り装置	ゆっくりとならばシートベルトを引き出すことができるが、強く引くと固定され、それ以上引き出せなくなる。	ゆっくりとシートベルトを引き出して本製品を取り付けてください。
ELR/ALR (AELR) チャイルドシート 固定機構付 ベルト巻き取り装置	通常はELRとして機能。 シートベルトを最後まで引き出すと、ALRに切り替わり、シートベルトが最後まで引き戻ると、再びELRに切り替わる。	ELRに切り替えて取り付けてください。
その他	使用できません	

 危険

シートベルトの種類以外の要因で使用できない可能性があります

シートベルトの種類以外の要因で使用できない可能性があります。シートベルトの種類が適合していても、他の条件により、本製品を正しく取り付けおよび使用ができない場合があります。取り付けおよび使用可能な車種については、適合車種一覧をご確認ください。適合車種一覧で取り付けおよび使用不可とされている車種、座席では、絶対に取り付けおよび使用をしないでください。

使用上の注意事項

本製品の誤った使用は、所定の機能を発揮できないばかりか、お子さまのみならず他の乗員の方にも思わぬ危険をおよぼすおそれがあります。

ここでは本製品をお使いいただくにあたって注意していただきたい重要な事柄や「してはならない」重要な禁止事項について説明しています。

⚠危険

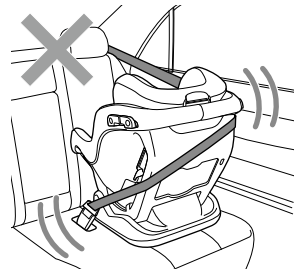
以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

本取扱説明書の指示に従って正しく使用すること

本書においては、本製品の自動車への取り付けかたの他に、お子さまの年齢、月齢に応じた取り付けかたや調節の方法、禁止事項などが記載されています。本書の指示に従わない使用法はお子さまばかりか他の乗員や第三者に重大な被害をおよぼすおそれがあります。

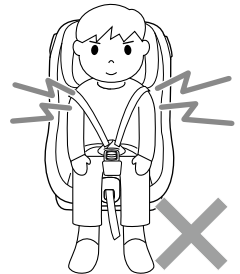
本取扱説明書および本体の表記、自動車の取扱説明書の指示に従って正しく自動車の座席に取り付けること
本取扱説明書および本製品の本体に記載されている指示ならびに本製品を取り付ける自動車の取扱説明書の指示に従って、正しく自動車のシート（座席）にしっかりと固定して使用してください。

正しく固定されていないと事故や衝撃を受けた際に本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。



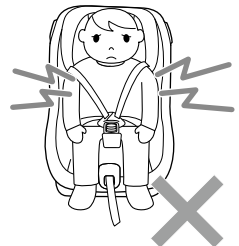
使用条件を厳守すること

本製品は適合する基準により使用できる条件と本製品の取り付け、使用方法（後ろ向き、前向き）とそれに応じた使用可能なお子さまの条件が定められています。この使用条件を守らないと本製品が所定の安全性能を発揮できず、思わぬ事故につながるおそれがあります。



体型が合わない場合は使用しないこと

本製品はお子さまの身長により使用可能な期間と条件が定められていますが、正しい範囲内でもお子さまの体型、体格、着衣の状況により本製品を調節してもお子さまを正しく固定できない場合は所定の安全性能を発揮できませんので使用しないでください。



⚠危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることが示します。

お子さまを正しく固定して使用すること

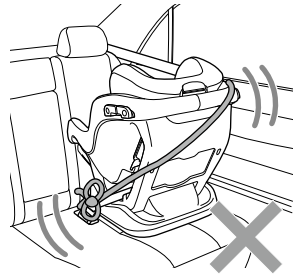
本取扱説明書の記載に従い本製品を正しく調節して、正しくお子さまを固定してください。規定された条件に適さないお子さまに使用したり、ハーネスや股ベルトを間違えて使用したり、お子さまを立たせたり、正座、中腰の体勢で使用したり、複数のお子さまを座らせたりしてはいけません。



指定する方法以外での取り付け、固定をしないこと

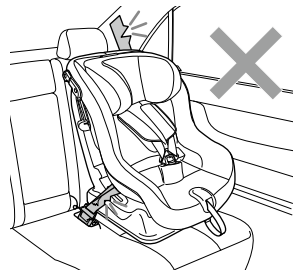
本製品は適合する車種、座席に装備された3点式シートベルトで取り付けて使用します。ひもや帯状のもの、布、梱包用ベルト、テープなど3点式シートベルト以外のもので本製品を固定してはいけません。

また3点式シートベルトで固定した上に、これらのもので補強してもいけません。3点式シートベルトによって本製品が自動車座席に正しく固定されていたとしても、これらのものが本製品の固定に影響を与えたり、お子さまの首や身体に引っかかるなどして重大な事故につながるおそれがあります。



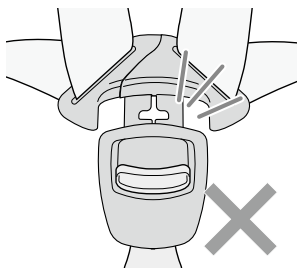
損傷、故障した3点式シートベルトでの取り付け、使用をしないこと

損傷、故障している3点式シートベルト（シートタング、シートバックルを含む）で本製品を取り付け、使用してはいけません。交通事故や急制動の際にシートベルトが切断したりシートバックルが外れたりして本製品が座席から外れて重大な事故につながるおそれがあります。



バックル、ハーネス、股ベルトに異常が生じた場合は本製品を使用しないこと

バックルが正しく留まらない、ハーネスや股ベルトに損傷がある、ハーネスに異常がありお子さまを正しく締め付けることができない場合はただちに使用を中止してください。

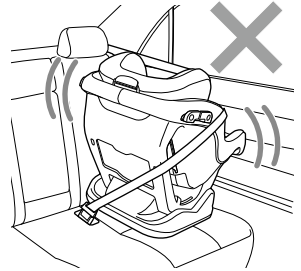


⚠️ 危険

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る切迫した事態が生じることを示します。

指定以外の向きで自動車の座席に取り付け、使用しないこと

本製品は使用可能なお子さまの条件に応じて進行方向前向きの座席に後ろ向き、または前向きで固定して使用します。横向きや斜め向きなど本取扱説明書において指示していない向きにして取り付けてはいけません。



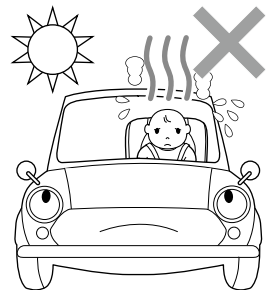
ハーネスを正しく調節して常に装着すること

ハーネスは、正しく調節してねじれないことを確認して使用します。ハーネスの腰ベルトはお子さまの骨盤の上を通るように位置を調節してしっかりと締め付けて常にバックルを留めておくようにしてください。



お子さまを車内に放置しないこと

いかなる場合でも、どれだけ短時間であっても絶対にお子さまを自動車の中に放置してはいけません。気温に関わりなく日差しにより自動車内の温度が高くなり、熱中症・脱水症状になるおそれがあります。また日差しのない時でもチャイルドシートから抜け出そうとしてケガをしたり誤って自動車の操作をしたりするなどして重大な事故につながるおそれがあります。



お子さまの様子に注意すること

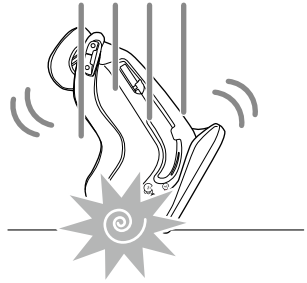
本製品使用中は、安全運転に配慮した上でお子さまの様子を常に見守るようにしてください。

警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

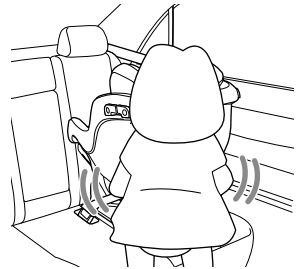
強い衝撃を受けた場合、損傷した場合、部品が欠落した場合は使用を中止すること

交通事故にあった、落下させた、車のドアで強くはさんだなど一度でも強い衝撃を受けた場合は絶対に使用してはいけません。また本製品の部品が欠落したり紛失した場合も使用してはいけません。目には見えない損傷や部品の欠落の影響によって本製品が安全に機能しなくなっている可能性があります。このような場合は修理ができず保証の対象外となりますので新しいチャイルドシートをご購入いただく必要があります。



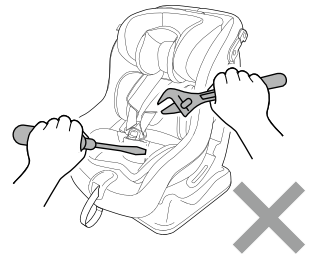
走行前には毎回チャイルドシートの取り付け状態を確認すること

走行中の振動や他の乗員、お子さまが触れるなどして、必要な固定部位が解除されていたり、シートベルトがゆるんだりしているおそれがあります。走行前には毎回チャイルドシートが正しく固定されているかどうかを必ず確認してください。



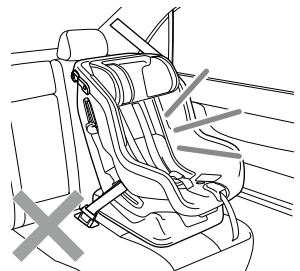
チャイルドシートを分解したり改造したり、指定外の部品を取り付けて使用しないこと

チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本製品の適合する規格、基準に関わる管轄当局の承認なしに本製品に変更を加えたり部品等を追加することは禁止されています。また、指定外の部品への交換、同梱されていないアクセサリや他社製の部品や製品を本製品に追加して使用しないでください。



カバー類や部品を外して使用しないこと

チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本取扱説明書で別段の指示がない部品を取り外して使用しないでください。カバー類やウレタン、衝撃吸収材も安全に関わる重要な部品ですので決して取り外して使用しないでください。また同様にチャイルドシートに貼られているラベルやシールも安全に関わる重要な部品ですので決してはがさないでください。



警告

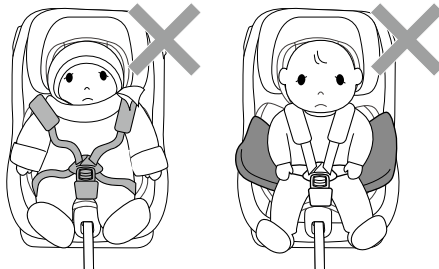
以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

不適切な着衣で使用したり、お子さまの下にクッションや座布団などを敷いたりしないこと

お子さまが、サイズの大きすぎる服や厚みのありすぎる服などを着用していると、本製品のバックル（ハーネス、股ベルト）で正しく固定できず、お子さまがチャイルドシートから落下したり飛び出したりするおそれがあります。また、ケープ、毛布など衣服ではないものや、おくるみなどの両足が出ない（股ベルトを両足ではさめない）構造の着衣でチャイルドシートを使用しないでください。厚みのあるダウンジャケットなど厚着をしている場合には、お子さまが確実にチャイルドシートに固定されるようにハーネス等を正しく調節してください。

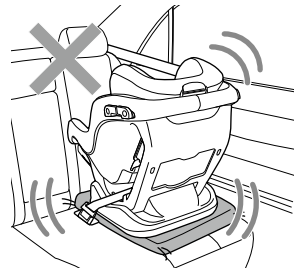
正しく調節できない場合はお子さまを正しくチャイルドシートに固定できるように、着衣を調節してください。

また事故や衝撃を受けた際にお子さまが滑りやすくなりますので、毛布やクッション、座布団などの敷物をお子さまの下に敷かないでください。



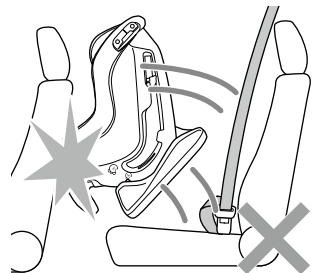
本製品の下に座布団やクッションを敷かないこと

本製品と座席の間に座布団やクッションなどを敷くと本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本製品を正しく取り付けられた際に自動車のシートにくぼみや傷が生じる可能性がありますのであらかじめご了承ください。



使用しない場合でも、車内では本製品を必ず固定しておくこと

お子さまを乗せて使用しない場合でも、自動車に本製品を乗せる際には本取扱説明書の指示に従って自動車のシートに正しく固定しておいてください。正しく固定されていないと、交通事故や急制動の際に本製品が移動して運転操作の邪魔になったり他の同乗者にあたるなどして重大な事故につながるおそれがあります。



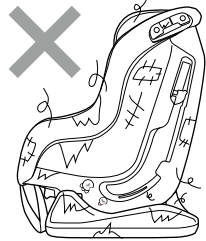
⚠ 警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

中古品や劣化した本製品を使用しないこと

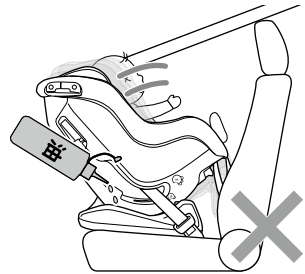
中古品は過去の履歴や保管状況、使用状況が不明なため使用してはいけません。

見た目では判断できない劣化や構造的損傷が発生している可能性があります。また安全のため使用しなくなった本製品は再利用されないようご配慮いただいた上で適切に廃棄するようお願いいたします。



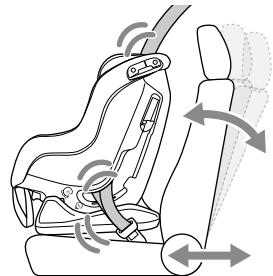
いかなる場合でも注油しないこと

本製品が破損したり安全に機能しなくなったりするおそれがあります。お手入れや操作をスムーズにするためなどの目的であっても絶対に本製品に注油してはいけません。また同様に自動車のシートバックル、シートタンク、シートベルト巻き取り装置にも絶対に注油しないでください。



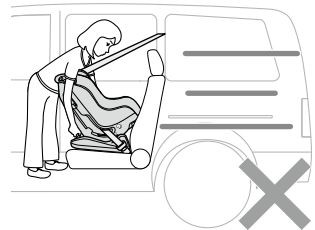
本製品を取り付けた後に自動車の座席のリクライニング操作または位置の移動、調整をした場合には本製品の取り付けの状態を必ず確認すること

本製品の取り付け状態に影響して、本製品の取り付けがゆるんだり不適切な状態になったりする可能性があります。本製品を取り付けた後で取り付け座席のリクライニング操作や位置を前後に移動したり回転させるなどの操作をした後には、必ず本製品の取り付けの状態を確認してゆるんでしまっていた場合には本製品を正しく取り付けなおしてください。



自動車の走行中にチャイルドシートを操作しないこと

自動車の走行中に本製品を操作してはいけません。取り付け状態の確認やお子さまの固定状態の確認でも、走行中には操作しないでください。走行中に異常を発見したり、取り付け状態やお子さまの固定状態に不安が生じた際には、速やかに自動車を安全な場所に停めてから確認、操作を行ってください。



⚠ 警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

指定外のカバー類やパッド類、インファントインサート、クッションを使用しないこと

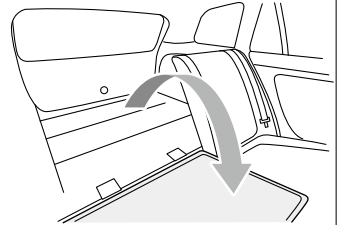
本製品のカバー類やパッド類、インファントインサート、クッション、衝撃緩衝材も本製品の安全性能を構成する重要な部品類です。本製品が安全に機能しなくなるおそれがありますので、本製品に付属または当社が指定するカバー類やパッド類、インファントインサート、クッション以外のものを代用または追加して使用してはいけません。

ベルト類、ハーネスがゆるんだ状態で使用しないこと

自動車のシートベルトや本製品のハーネスがゆるんだ状態で使用しないでください。交通事故や急制動の際にお子さまに過剰な衝撃が加わったり、お子さまが本製品から飛び出したり、ベルト類やハーネスがお子さまに絡まったり、本製品が自動車座席から外れたりするおそれがあります。

可倒式座席の場合は確実に背もたれを固定すること

自動車の可倒式座席（トランクスペースを広く使えるように座席の背もたれを前に倒すことができる座席/トランクスルー）にチャイルドシートを取り付ける場合、背もたれを確実に立てて固定してください。背もたれが確実に固定されていないと、使用中に突然背もたれが倒れて思わぬ事故につながるおそれがあります。

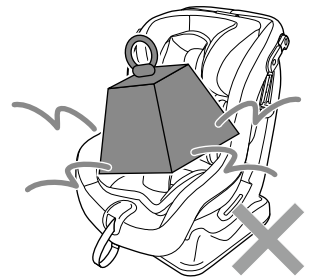


本製品に過度の負担を掛けないこと

本製品が損傷して所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがありますので、本製品に重いものを載せたりドアや自動車座席のリクライニングで強くはさむなどしたりしないでください。

過度の負担により本製品が損傷した場合は使用を中止してください。

また負担が掛かると本製品の取り付けの状態に影響するおそれがあります。本製品に負担が掛かった場合には本製品に異常がないことを確認した上で取り付けの状態を確認し、ゆるんだりしていた場合にはしっかりと取り付けなおしてください。

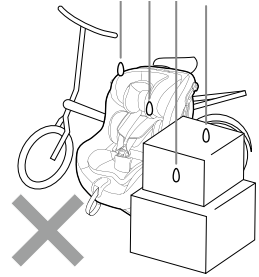


⚠ 警告

以下に記載する内容を守らなければ、死亡または重傷に至る可能性があります。

不適切な保管をしないこと

部品の劣化が早まったり変質するなどして本製品が正常に機能しなくなるおそれがありますので、風雨にさらされる露天、直射日光のあたる場所、極端に暑くなる場所、湿気の多い場所、ホコリの多い場所などで保管しないでください。また、このような状態で長期間保管された本製品を使用してはいけません。



バックル、ハーネスの状態を適宜確認すること

お子さまが激しく身体を動かしたりハーネスやバックルボタンに触れたりするとバックル、ハーネスの装着状態が正しくなくなってしまう場合があります。お子さまにはバックルには触れないように言い聞かせて、適宜バックルが正しく留められてハーネスが正しく装着されているかをご確認ください。



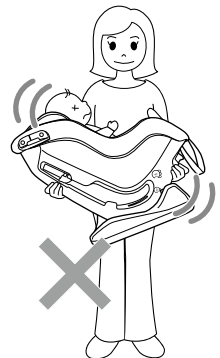
目的外で本製品を使用しないこと

本製品はチャイルドシートとしてのみ使用することができます。椅子やベッド、ベビーキャリーとして使用するなどチャイルドシート以外の目的で使用すると、お子さまが落下するなどして重大な事故につながるおそれがあります。



お子さまを乗せたままチャイルドシートを持ち上げないこと

お子さまがチャイルドシートから落下したり本製品が落下したりするなどして、思わぬ事故につながるおそれがありますので、たとえバックル（ハーネス、股ベルト）でお子さまが正しく固定されていたとしてもお子さまを乗せたままチャイルドシートを持ち上げたり、持ち運んだりしないでください。

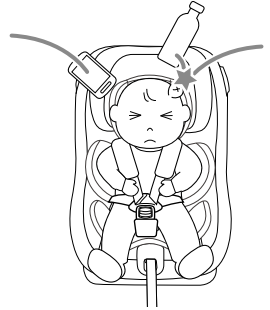


⚠️ 注意

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

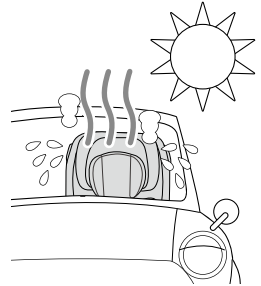
車内の物品は固定しておくこと

急制動などの際に、チャイルドシートを使用しているお子さまのみならず他の同乗者にあたるなどしてケガを負うおそれがありますので、自動車内にある動く物品は適切に固定するようにしてください。



部品の過熱に注意すること

ヤケドを負うおそれがありますので、チャイルドシートの金属部品や樹脂部品が日光により過度に加熱していないか確認してからお子さまを乗せてください。また、本製品を操作する方も温度を確認してから操作するようにしてください。野外に駐車する際には、直射日光を避けて日陰に駐車したりチャイルドシートに覆いをしたりするなどして過熱を防ぐようにしてください。



ハーネスや股ベルトなどベース、シェル以外の部分を持って本製品を持ち上げないこと

本製品が破損、落下するおそれがありますので、本製品を持ち上げる際にハーネスや股ベルトを持ったり、生地部分やパッド部分、インファントインサートを持つなどして持ち上げないでください。本製品を持つ場合はベースおよびシェルの部分（樹脂部分）を持つようにしてください。



トランク内での保管に注意すること

本製品の破損につながるおそれがあります。本製品を自動車のトランクに入れて保管する場合は本製品の上に他の物を載せないように注意してください。また、トランク内は高温になりますので長期間にわたるトランク内での本製品の保管は避けてください。

⚠️ 注意

以下に記載する内容を守らなければ、軽傷または中程度の傷害を負ったり、本製品またはその他の物品に損害をあたえたりすることがあり得ることを示します。

バックルやハーネスを自動車のドアやシートに挟まないよう注意すること
本製品のバックルやハーネスを自動車のドアやシートで挟まないように注意してください。また、バックルにほこりやゴミが付着したり入り込まないように、お子さまを乗せていない場合でも常にバックルを留めておくようにしてください。

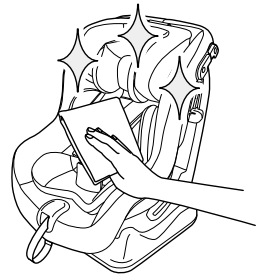
長期間使用しない場合は自動車の座席から取り外してください
本製品を長期間使用しない場合は、自動車の座席に取り付けたままにせず座席から取り外して車外に出して適切に保管してください。

疑問点やご不明な点は、販売店またはチャイルドシートメーカーにお問い合わせください

補修やお手入れ、メンテナンスについて疑問がある場合は、本製品をお買い求めになった販売店または巻末に記載のお客様サービスにお問い合わせください。

適切な方法でお手入れすること

チャイルドシートが安全に機能しなくなるおそれがありますので、お手入れやメンテナンスの際に潤滑油および潤滑性のある洗剤を使用してはいけません。本製品のお手入れは本取扱説明書の指示に従っておこなうようにしてください。



シートバックル、シートタングを清潔に保つこと

本製品は、自動車の3点式シートベルトによって固定して使用します。シートバックルやシートタングに汚れが付着していると事故や衝撃を受けた際に3点式シートベルトが正常に機能せず本製品が座席から外れるおそれがあります。シートバックル内にほこりや食べかすなどが入らないように注意して常にシートバックル、シートタングを清潔に保つようにしてください。3点式シートベルトの正しいお手入れについては自動車の取扱説明書を参照してください。

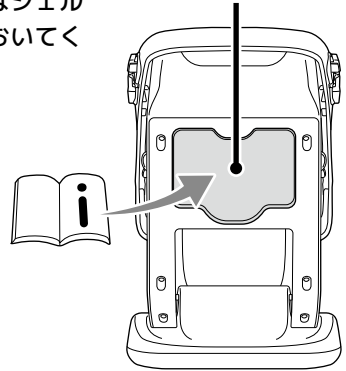


長時間連続して使用しないこと

お子さまにストレスや疲労をあたえる可能性がありますので、長時間連続しての使用はお控えください。より快適にご使用いただくために適宜お子さまをチャイルドシートから降ろして、お子さまが自由に動けるようにしてあげてください。また安全運転のためにもなりますので最低でも1時間に1度は連続した休憩をとるように心がけてください。

本書は取扱説明書ホルダーに保管しておくこと
必要なときにいつでも参照できるように、本書はシエルの
の裏側にある取扱説明書ホルダーに保管しておいてく
ださい。

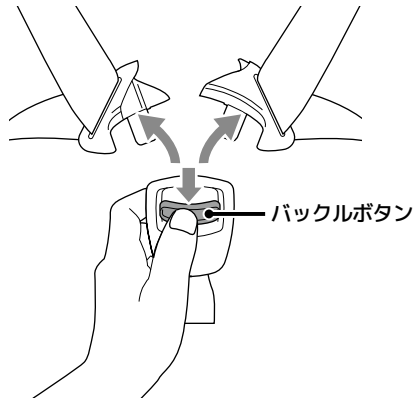
取扱説明書ホルダー



重要

緊急時の操作

交通事故などの緊急時には、あわてず本製品のバックルボタンを押し下げてハーネスを外して速やかにお子さまを自動車外に脱出させてください。その上で直ちにお子さまの応急処置を行い医師の診断を受けるようにしてください。



- 本製品のバックルボタンが機能しない場合は、自動車のシートベルトのシートバックルを外してロックオフデバイスからシートベルトを抜き、本製品ごとお子さまを車外に脱出させてください。
- 本製品のバックルもシートバックルも機能しない場合は、市販のシートベルトカッターなどを使用してハーネスを切断してお子さまを車外に脱出させるか、お子さまを本製品のハーネスを装着させたまま自動車のシートベルトを切断して本製品ごとお子さまを車外に脱出させてください。

お子さまの脱出の際にハーネスや自動車のシートベルトにお子さまが絡まないように注意してください。

基本的な使いかた

ここでは後ろ向き取り付け使用時、前向き取り付け使用時に共通する本製品の基本的な使用方法について説明しています。実際にご使用になるお子さまの体重や体格、月齢に合わせて本製品を調節してください。

⚠危険

適切に使用すること

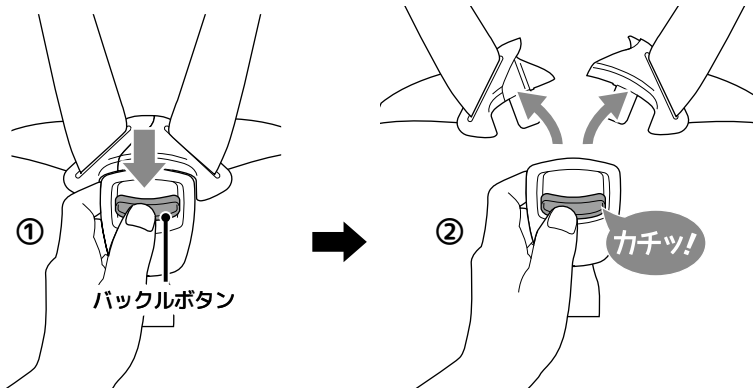
不適切な使用は重大な事故につながります。本書に記載されているすべての事柄を理解して、お子さまの身長に応じて適切な向きで本製品を正しく取り付け、お子さまの身長、体重、体格、月齢に応じた調節を行い正しくお使いください。

バックルの使いかた

バックルの外しかた

01

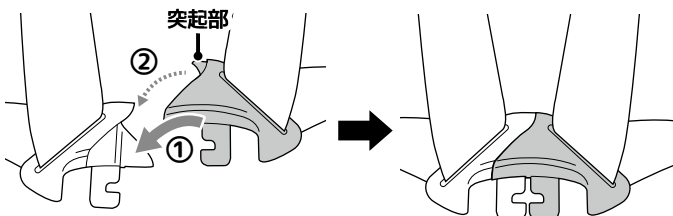
バックルを外すには①バックルボタンを押し下げます。②カチッと音がして左右の差込みタンクが外れます。



バックルの留めかた

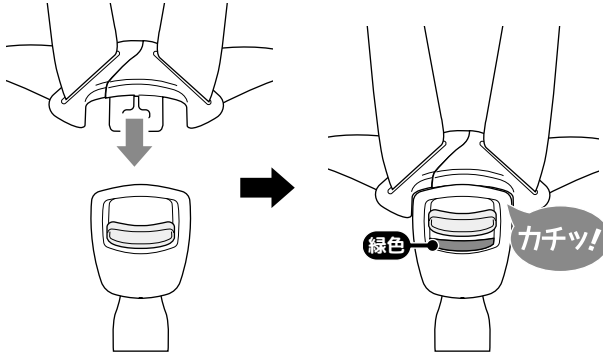
01

①右の差込みタンクを左の差込みタンクに重ねるようにして、②右の差込みタンクの突起部を左の差込みタンクに差し込んで左右の差込みタンクを合わせます。



02

そのまま差込みタングを受けバックルに差し込みます。カチッと音がするまで差し込みます。バックルボタンの下部に緑色のインジケーターが表示されたことを確認してください。



03

軽く肩ベルトを引いて、バックルがしっかりと留まっていることを確認してください。

 **ポイント!**

バックルの破損、汚損、ケガを防ぐため、お子さまが使用していないときや保管するときもバックルは常に留めておくようにします。

 **危険**

バックルは確実に留めて使用すること

バックルが正しく留まっていないと、本製品の使用中に急にバックルが外れてお子さまが本製品から飛び出したり、落下したりするなどして重大な事故につながるおそれがあります。バックルに異常がある場合はただちに本製品の使用を中止して巻末の保証書に記載のお客様サービスまでご連絡ください。

 **注意**

バックルを清潔に保つこと

食べかすやゴミが受けバックルの内部に入ったり差込みタングに付着しないよう注意してください。お子さまを乗せて使用しない場合でも、常にバックルは留めておくようにしてください。

ハーネスの長さ調節

お子さまの体格や月齢、着衣の状態に応じてハーネスでお子さまをしっかりと固定できるように長さを調節します。

⚠危険

ハーネスの長さは適切に調節すること

ハーネスは必ず適切な長さに調節してください。ハーネスが締められすぎていたり、ゆるんでいたりすると事故や衝撃の際にお子さまが本製品から飛び出したり肩ベルトが首に絡まるなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。

⚠注意

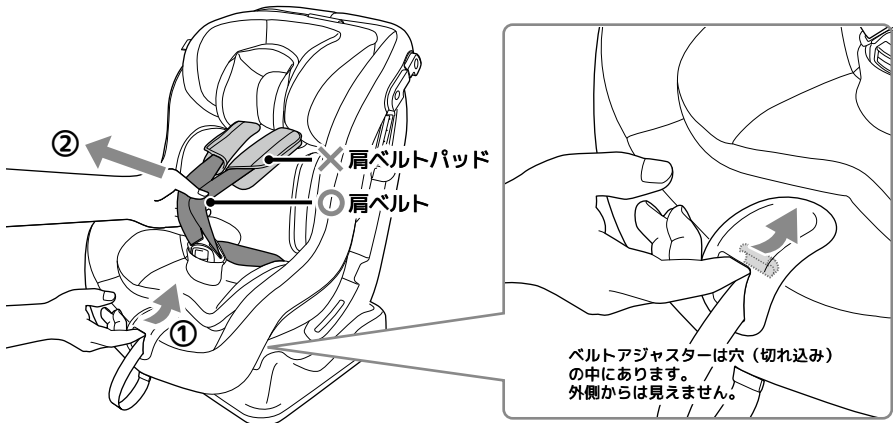
ハーネスは左右同じ長さに調節すること

左右でハーネスの長さが異なるとハーネスが所定の機能を発揮できないおそれがあります。必ず左右のハーネスを同じ長さに調節してください。

ゆるめかた

01

シェル前端のアジャスターベルトの上にある、①ベルトアジャスター（穴の中にあるので外側からは目視できません）を押し上げながら、②左右の肩ベルトを束ねて持ってゆくりと手前に引き出します。肩ベルトパッドを持つと、肩ベルトの引き出しができませんのでご注意ください。



締めかた

01

アジャストベルトを手前に引くとハーネスが締まります。

注意

アジャストベルトはゆっくりと引くこと

勢いよく強くアジャストベルトを引くとお子さまに過剰な負担がかかるおそれがあります。

アジャストベルト



ヘッドサポート・肩ベルトの高さ調節

ヘッドサポートと肩ベルトは連動しています。ヘッドサポートの高さを調節すると自動的に肩ベルトの高さも調節されます。

お子さまの成長に合わせてヘッドサポートと肩ベルトの高さを適切に調節してください。

危険

肩ベルトの高さは適切に調節すること

肩ベルトの高さは必ず適切な高さに調節してください。肩ベルトの高さが適切でないと、事故や衝撃を受けた際にお子さまが本製品から飛び出したり、肩ベルトがお子さまの首に絡まるなどして重大な事故につながるおそれがあります。

01

あらかじめハーネスをゆるめておきます。

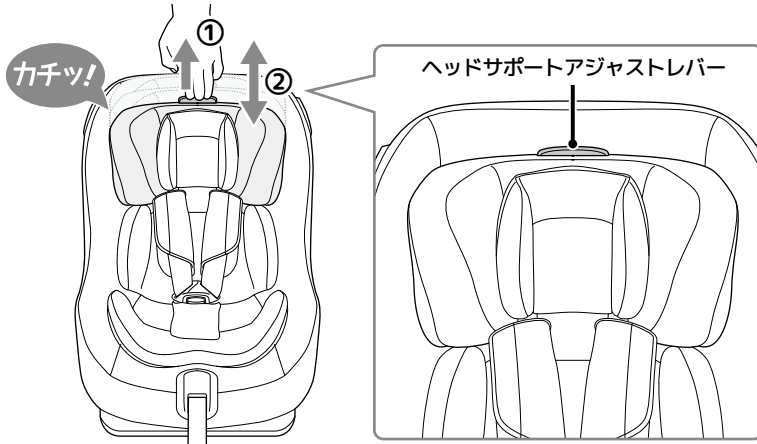
参照 P31 ▶ハーネスの長さ調節▶ゆるめかた▶01

ポイント！

ハーネスが締められた状態でバックルが留まっているとヘッドサポートは高くする方向には動かせません。ヘッドサポート、肩ベルトの高さを調節する前にハーネスをゆるめておいてください。

02

ヘッドサポート上端の①ヘッドサポートアジャストレバーを引き上げながら②ヘッドサポートを上下にスライドさせてヘッドサポートの高さを調節します。適当な高さで握った手を放して軽く上下に動かすとカチッと音がしてヘッドサポートが固定されます。ヘッドサポートの高さは6段階で調節できます。



⚠危険

肩ベルトの適切な高さは取り付けの向きによって異なります

本製品の取り付けの向き（後ろ向きまたは前向き）によって、適切な肩ベルトの高さは異なります。間違った調節を行うとお子さまが事故や衝撃を受けた際に本製品から飛び出すなどして大変に危険です。以下を参照して取り付けの向きに応じてそれぞれ適切な高さに調節してください。

参照 P59-60 ▶お子さまの乗せかた▶後ろ向き取り付けで使用する▶06

参照 P66 ▶お子さまの乗せかた▶前向き取り付けで使用する▶06

👉ポイント！

ヘッドサポートを高く調節した際に自動車の座席のヘッドレストと干渉する場合は、ヘッドレストを高くするか、取り外して干渉しないようにしてください。

ヘッドレストを取り外した場合はトランクなどに保管して車内に放置しないようにしてください。

インファントインサート

本製品のインファントインサートは、ヘッドパッド、ボディサポート、クッション背部（内蔵）、クッション座部（内蔵）で構成されています。

身長が60cmになる頃まではすべてのインファントインサートを取り付けての使用を推奨します。

お子さまが成長して窮屈になってしまう場合、インファントインサートは調節して使用することができます。以下を参照して適切に調節してください。

参照 P12 ▶使用できるお子さまの条件▶インファントインサートの使用

👉 ポイント！

ご購入時にはすべてのインファントインサート（ヘッドパッド・ボディサポート・クッション）が取り付けられています。お子さまの体格、成長に合わせて調節して使用してください。

インファントインサートを調節して使用する場合の操作と、インファントインサートの取り付け、取り外しの操作は基本的に同じです。

取り外し**01**

あらかじめハーネスをゆるめてバックルを外しておきます。

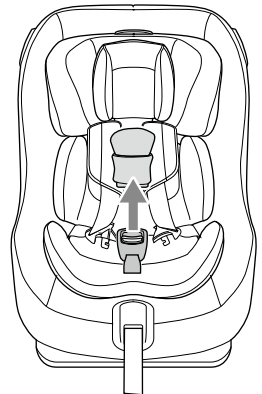
参照 P31 ▶ハーネスの長さ調節▶ゆるめかた▶01

02

受けバックル（股ベルト）から股ベルトパッドを抜き取ります。股ベルトパッドはゴムバンドで股ベルトに留められていますので、ゴムバンドから抜いて取り外してください。

⚠ 危険

股ベルトパッドを取り付けて使用すること
股ベルトパッドを取り外した場合は、股ベルトパッドは必ず取り付けなおしてください。

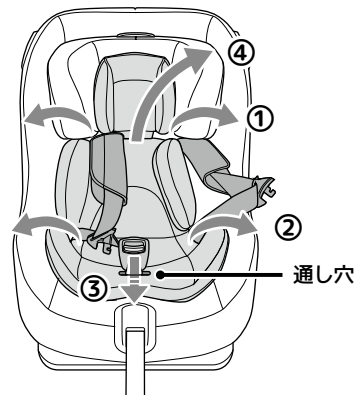
**03**

①左右の肩ベルト②左右の腰ベルトをそれぞれインファントインサートのすき間から外して、③受けバックル（股ベルト）をインファントインサートの通し穴から抜いて④インファントインサートを取り外します。

👉 ポイント！

ハーネスの取り外しがきつい場合はハーネスをゆるめると操作しやすくなります。

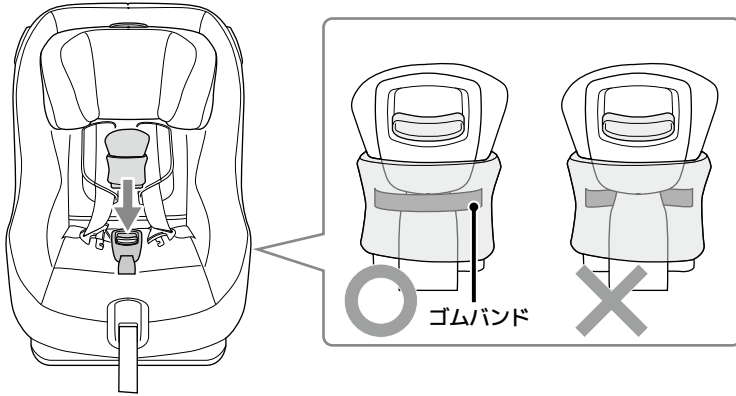
参照 P31 ▶ハーネスの長さ調節▶ゆるめかた▶01



04

股ベルトパッドを取り付けます。必ず取り付けてください。

股ベルト（受けバックル）を股ベルトパッド内のゴムバンドに通して取り付けます。



05

バックルを留めます。

⚠ 注意

インファントインサートを大切に保管すること

取り外したインファントインサートはお子さまの手の届かない場所で大切に保管してください。調節によりインファントインサートの一部分を取り外した場合も同様にご確認ください。

取り付け

01

取り外しと逆の手順で取り付けます。

取り付け後は、バックルを留めてアジャストベルトを引いてハーネスを締めておきます。

参照 P29 ▶バックルの使いかた▶バックルの留めかた▶ 01

参照 P32 ▶ハーネスの長さ調節▶締めかた▶ 01

👉 ポイント！

インファントインサートの取り付けがきつい場合は、ハーネスをゆるめて操作してください。

ヘッドパッドの調節

お子さまが成長して頭部が窮屈になったら、ヘッドパッドを取り外します。ヘッドパッドの脱着はインファントインサートを本製品に取り付けた状態のままでも行うことができます。

ポイント！

ヘッドパッドのみでは使用できません。ヘッドパッドは必ずボディサポートに取り付けて使用してください。

01

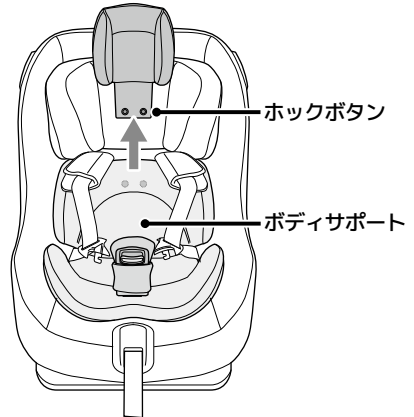
あらかじめバックルを外しておきます。

02

ヘッドパッドはボディサポートの表生地裏側（クッション（背部）用収納部）にホックボタン（2カ所）で留められています。ホックボタンを外してヘッドパッドを取り外します。

ポイント！

ヘッドパッドの下部は、クッション（背部）とボディサポートに挟まれた状態でボディサポートにホックボタン（2カ所）で留められています。



03

ヘッドパッドの取り付けは、取り外しの逆の手順で行ってください。

警告

ヘッドパッドは正しくホックボタンで取り付けること

ヘッドパッドを取り付ける場合は、ボディサポートにホックボタン（2カ所）で確実に固定してください。ホックボタンを固定せずに使用すると、事故や衝撃を受けた際にヘッドパッドが移動することによりお子さまの頭部に過剰な衝撃が加わるなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。

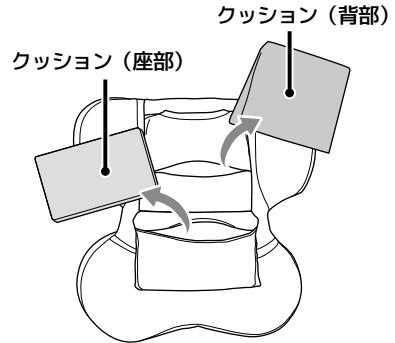
ボディサポート（クッション）

お子さまの身体が窮屈な状態になったらボディサポートからクッション（背部）、クッション（座部）を取り外して使用することができます。下記を参照してお子さまの成長に応じてボディサポートを調節してご使用ください。

参照 P12 ▶使用できるお子さまの条件▶インファントインサートの使用

01

ボディサポート背面の開口部からクッション（背部）、クッション（座部）を抜き取ることができます。



02

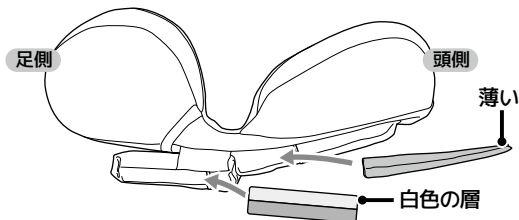
クッション（背部）、クッション（座部）の両方または片方を取り外した状態で使用する場合は、ボディサポートをシェルに取り付けます。取り付け、取り外しの方法はインファントインサートと同様です。

参照 P35 ▶インファントインサート▶取り付け▶01

03

クッション（背部）、クッション（座部）の取り付けは、取り外しの逆の手順で行います。それぞれボディサポート背面の開口部より差し込んで取り付けてください。クッションには向きがありますのでご注意ください。

- クッション（背部）は薄い側をボディサポートの頭側にして取り付けます
- クッション（座部）は白色の層を上にして取り付けます



リクライニング機構

本製品にはシエルの角度を調節するリクライニング機構が装備されています。
後ろ向き、前向きでの取り付けで使用できるリクライニングの角度が異なります。

- 後ろ向き取り付けの場合は「後ろ向きポジション」でのみ使用可能
- 前向き取り付けの場合は「前向きポジション」の3段階で調節可能

⚠危険

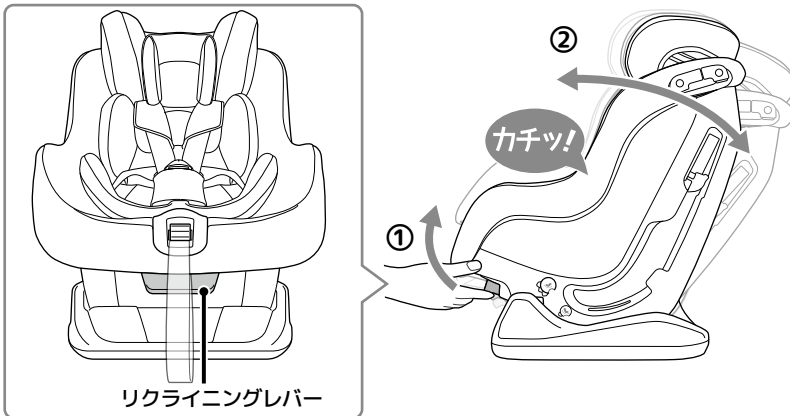
リクライニングを正しく調節すること

本製品では、リクライニング機構によりシエルの角度を変更することができます。後ろ向き、前向きにより使用できるシエルの角度が異なります。誤った角度で使用すると大変に危険ですので以下を参照して本製品の取り付けの向きに応じて正しく調節してください。

リクライニングの操作

01

シエルの座面部先端の下にある①リクライニングレバーを引き上げて②シエルの角度を調節します。固定可能な4カ所のいずれかでカチッと音がしてシエルが固定されます。



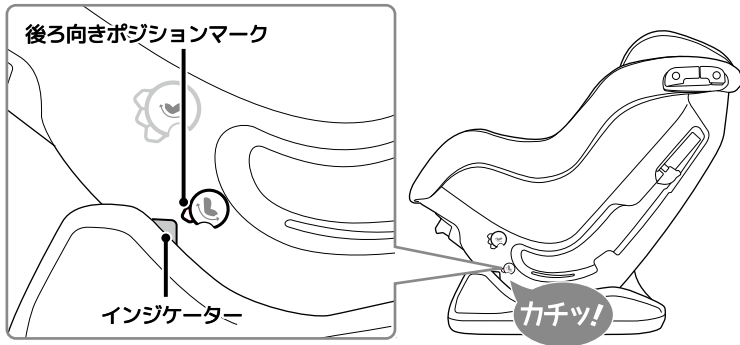
02

後ろ向き取り付け、前向き取り付けでそれぞれ使用可能なリクライニングの角度は以下の記載を参照してください。

後ろ向き取り付けでのリクライニング

後ろ向き取り付け時は、「後ろ向きポジション」でのみ使用可能です。

ベースのインジケータと後ろ向きポジションマークを合わせてください。



⚠危険

前向きポジションでは絶対に使用しないこと

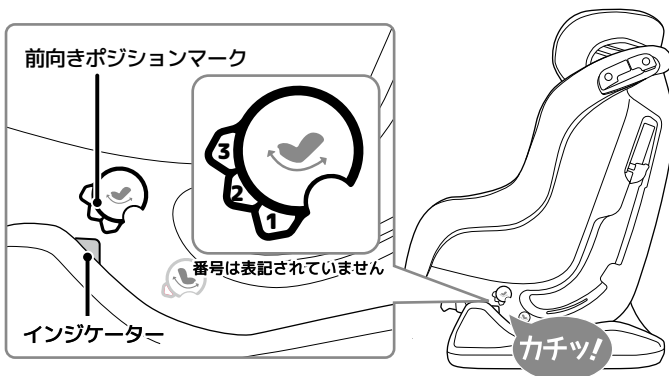
本製品を後ろ向きで取り付ける場合、リクライニングを前向きポジションにはしないでください。適切な角度にならず本製品を正しく固定もできないために事故や衝撃を受けた際に思わぬ事故につながるおそれがあります。

また月齢の低い首のすわっていないお子さまの場合は頭部の傾きによって窒息するおそれがあります。

前向き取り付けでのリクライニング

前向き取り付け時は、「前向きポジション」でのみ使用可能です。

3段階の前向きポジションマークのいずれかとベースのインジケータを合わせてください。

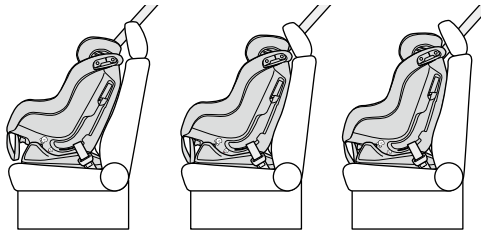


⚠危険**後ろ向きポジションでは絶対に使用しないこと**

本製品を前向きで取り付ける場合、リクライニングを後ろ向きポジションにはしないでください。適切な角度にならず本製品を正しく固定もできないために事故や衝撃を受けた際に思わぬ事故につながるおそれがあります。

👉ポイント！

前向き取り付け時は、座席のシート背もたれと本製品のシェル背面の角度を合わせて取り付けて使用します。本製品を取り付ける座席のシート背もたれの角度に応じてリクライニングを調節してください。

**自動車の座席への取り付け**

本製品を自動車の座席に取り付けます。

本製品はお子さまの身長、月齢によって後ろ向き、または前向きに取り付けます。

取り付けの向きによって取り付け方法が異なりますのでご注意ください。

「使用できるお子さまの条件」を参照して、適切な向きで取り付けてください。

参照 P10-11 ▶使用できるお子さまの条件

⚠危険**使用できるお子さまの条件に従うこと**


使用できるお子さまの条件に従わないと大変に危険です。必ずお守りください。

⚠警告**お子さまを近づけないようにして作業すること**

安全のため、本製品の取り付け、取り外しの作業中はお子さまを近づけないようにしてください。

お子さまを乗せた状態で取り付け、取り外しをしないこと

本製品やお子さまが落下したり思わぬ動きをして事故につながるおそれがあります。

 **ポイント!**

以下の説明では、本製品を右ハンドル車の助手席後ろの座席（自動車の進行方向に向かって左側の後部座席）に取り付ける場合を図示しています。右側の後部座席に取り付ける場合、図示とは左右を逆にして操作してください。


後ろ向き取り付け

身長40cm~105cm かつ 体重2.5kg~18kgまで （目安年齢*1 新生児*2~4歳頃まで）

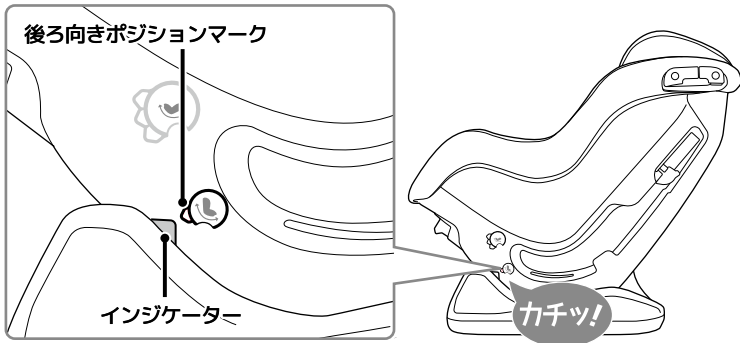
- ※ 1. 目安年齢はあくまでも目安です。身長および体重で使用できるお子さまの条件をご確認ください。
 ※ 2. ここでいう新生児とは、体重 2.5kg 以上かつ在胎週数 37 週以上で出生したお子さまを指します。

01

リクライニングが後ろ向きポジションになっていない場合は、あらかじめ後ろ向きポジションにしておきます。

 **ポイント!**

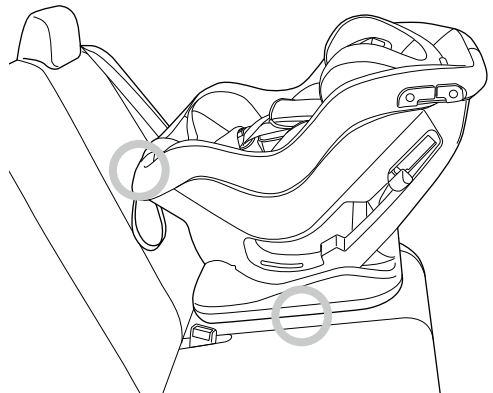
自動車の座席に固定した後にリクライニングを調節することはできません。取り付けがゆるむおそれがありますので、本製品を自動車の座席に取り付ける前にあらかじめリクライニングを後ろ向きポジションに調節しておいてください。



参照 P39-40 ▶リクライニング機構

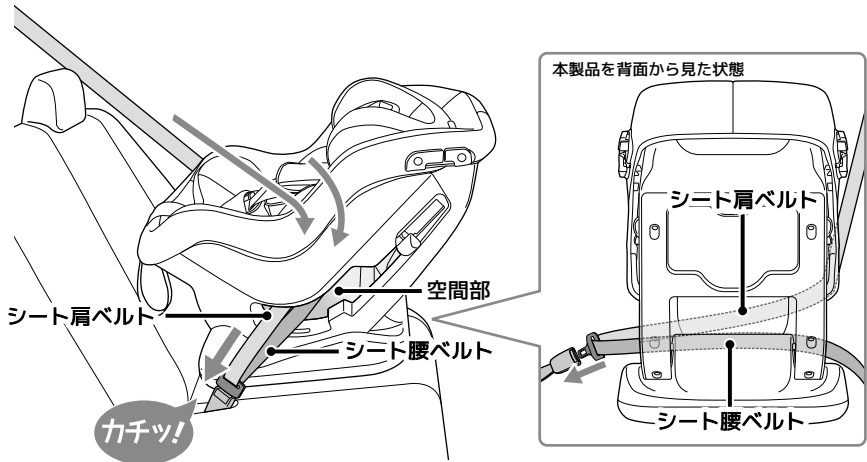
02

本製品を取り付ける自動車の座席の左右中央に本製品を後ろ向きにして置きます。本製品の底面が座席の座面に、前端が背もたれにそれぞれ接するようにしてください。

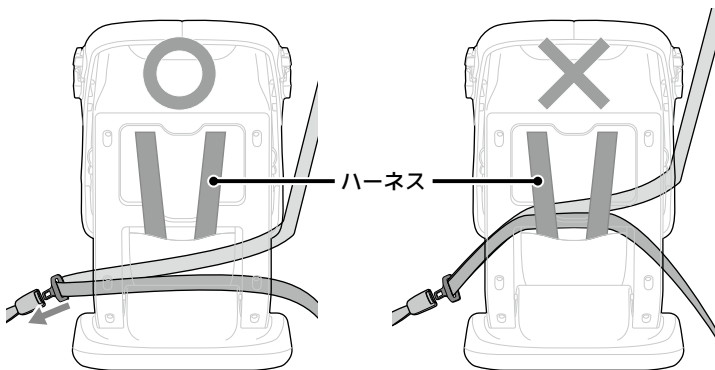


03

自動車のシートベルトを引き出して、シェル側面の空間部の反対側まで通して、シートベルトにねじれないことを確認しシートタングをシートバックルに差し込んでカチッと音がするようにしっかりと留めます。



シートベルトは本製品のハーネスの上を通します。ハーネスの下側を通さないように注意してください。ハーネスがゆるんだ状態の場合まれにハーネスの下側を通ることがありますのでご注意ください。



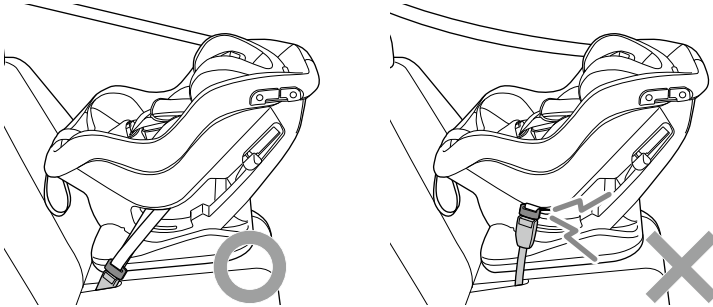
⚠危険

シートベルトをねじらないように注意してください

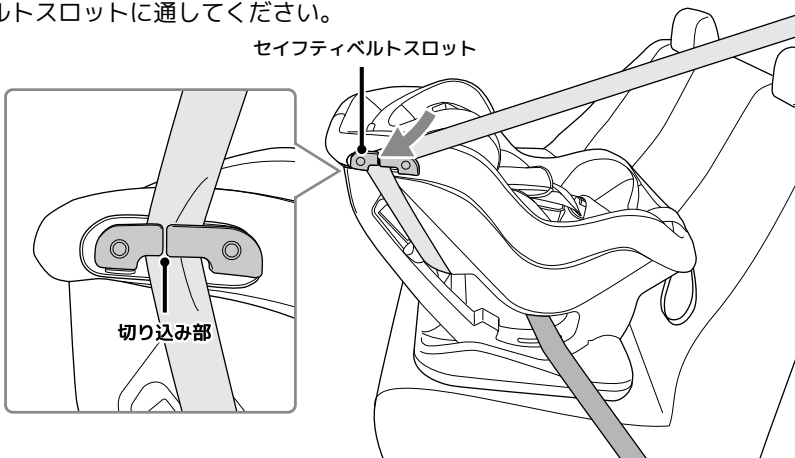
シートベルトにねじれがあると、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。シートベルトをねじらないように注意してシートベルトのバックルを留めてください。ねじれが生じた場合、バックルが留まったままでは修正できませんのでシートベルトのバックルを外してもう一度留めなおしてください。

不適切なシートバックルでは使用しないこと

シートバックル（バックルのベルト）が長すぎる座席には取り付けないでください。シートバックルのベルトが長すぎたり、シートバックルの位置が高すぎたり、前過ぎたりすると、本製品に干渉してしっかりと取り付けができない場合があります。このような座席には取り付けないようにしてください。

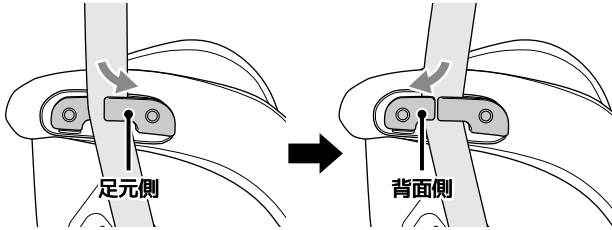
**04**

シートベルトの巻き取り装置側（シートバックルの反対側）のセーフティベルトスロットの切り込み部からシート肩ベルトを通します。図のようにシート肩ベルトを完全にセーフティベルトスロットに通してください。



Stedi™ R129

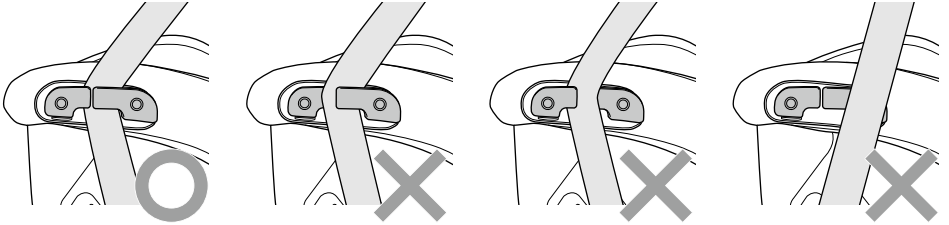
先にセイフティベルトスロットの前方（足元側）部分にシート肩ベルトを通して、次に後方（背面側）に通します。



⚠危険

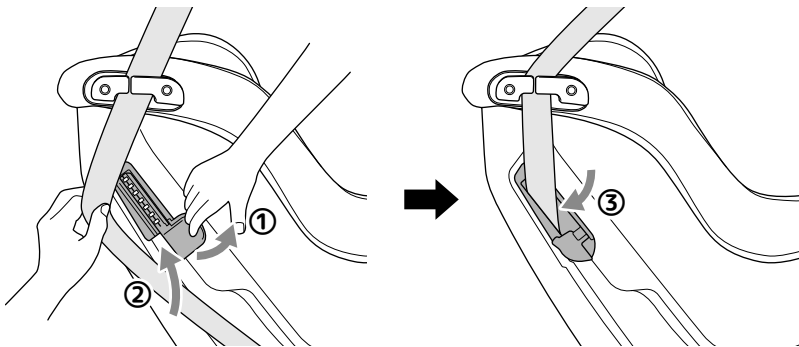
セイフティベルトスロットにシート肩ベルトを正しく通すこと

セイフティベルトスロットに正しくシート肩ベルトが通っていないと事故や衝撃を受けた際に本製品が外れて思わぬ事故につながるおそれがあります。



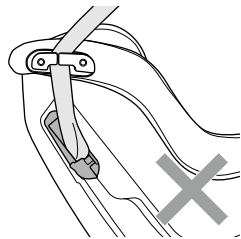
05

セイフティベルトスロットを通した側の①ロックオフデバイスを開いて、②シート肩ベルトを差し込み、③ロックオフデバイスを閉じます。シート肩ベルトを完全にロックオフデバイスの中に通すようにしてください。



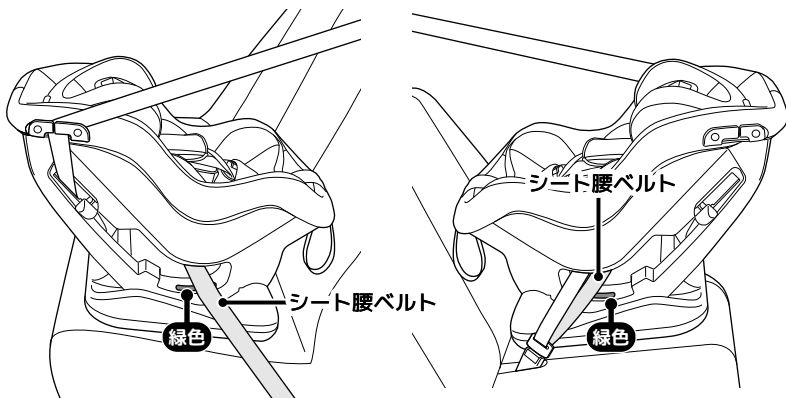
⚠危険

ロックオフデバイスにシート肩ベルトを正しく通すこと
 ロックオフデバイスに正しくシート肩ベルトが通っていないと
 事故や衝撃を受けた際に本製品が外れて思わぬ事故につながる
 おそれがあります。完全にシート肩ベルトが通った状態にして
 ロックオフデバイスを閉じてください。



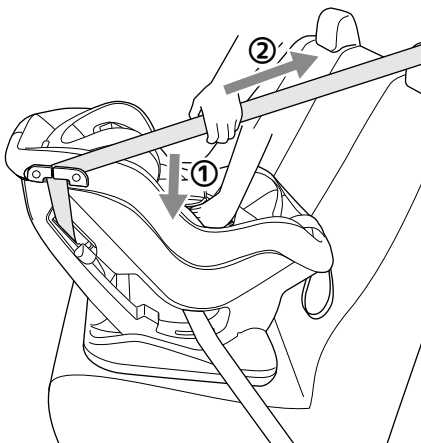
06

シート腰ベルトが本製品左右の腰ベルトパス（緑色のシールの部分）を通っていることを
 確認します。腰ベルトパスの位置からずれている場合は、シート腰ベルトを腰ベルトパス
 の上に移動させてください。



07

①本製品の座面部分を強く押し付けながら、②シート
 肩ベルトを締め付ける方向に強く引いて、本製
 品を自動車座席に固定します。強く締め付けるほ
 ど本製品はより安定します。



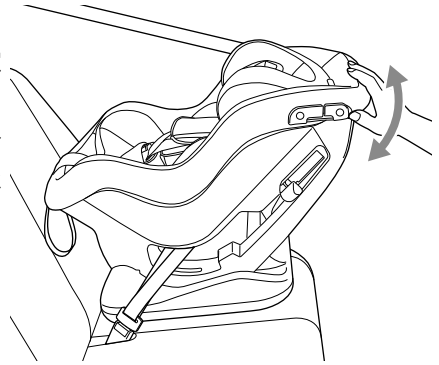
⚠注意

注意して操作すること

本製品の座面部分を押し付ける操作をする際、
 ケガをするおそれがありますので受けバックル
 や差込みタンクを押さないようにしてくださ
 い。

08

本製品を前後左右に軽く動かしてしっかりと固定されていることを確認してください。グラグラした感じがしたり本製品が3cm程度以上動く場合は、取り付けがゆるい状態ですので、シート肩ベルトをさらに締め付けてください。



警告

取り付けの状態に注意すること

本製品を取り付けた後で座席のリクライニングを調節したり座席を前後に動かしたりすると、取り付けがゆるんだり本製品の角度が変わったりすることがありますので注意して操作してください。

ポイント！

シートベルトをきつく締め付けるほど本製品はしっかりと固定されます。シートベルトにねじれがないことを確認して可能な限りシートベルトをきつく締め付けるようにしてください。

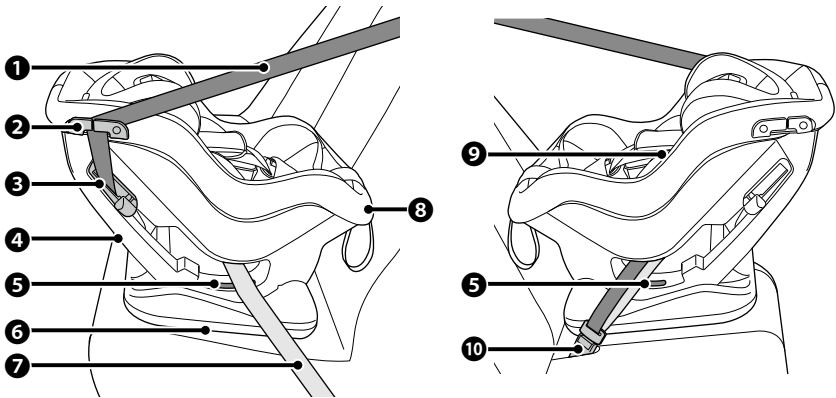
また使用中にシートベルトがゆるむことがありますので、適宜シートベルトの締め付け状態を確認してください。

車種、座席の種類によってはシートベルトで本製品を取り付けた後で座席を後ろ方向に移動させるとより本製品がきつく固定できる場合があります。ただし、このようなシートの場合は前方向に座席を移動させると取り付けがゆるみます。本製品の取り付け後の座席の位置、リクライニングの調節については本製品の取り付け状態に影響しますので、注意して操作するようにしてください。

09

以下のチェックリストを確認します。一つでも正しくない部分があれば正しい状態になるよう取り付けなおしてください。

本製品の使用中は正しい状態が維持されていることを適宜確認してください。

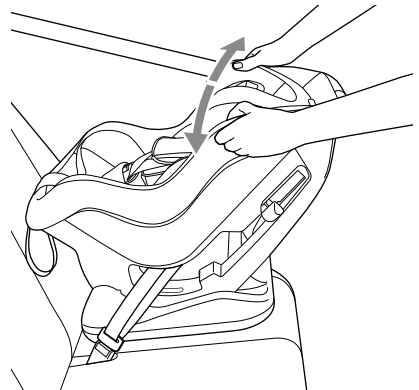


チェックリスト

- ① シート肩ベルトにねじれ、ゆるみがなく本製品をしっかりと固定していること。
- ② セーフティベルトスロットにシート肩ベルトが正しく通っていること。
- ③ ロックオフデバイスにシート肩ベルトが正しく通っていること。
- ④ シェルのリクライニングが「後ろ向きポジション」に調節され固定されていること。
- ⑤ シート腰ベルトが左右の腰ベルトパスの部分を通っていること。
- ⑥ ベースがシートの座面から浮いていないこと。
- ⑦ シート腰ベルトにねじれ、ゆるみがなく本製品をしっかりと固定していること。
- ⑧ 本製品の先端部がシート背もたれに接していること。
- ⑨ シートベルトが締め付けられ本製品がしっかりと座席に固定されていること。
- ⑩ シートベルトのバックルが正しくしっかりと留まっていること。

10

使用中に取り付け状態に変化が生じる場合があります。取り付け後は適宜本製品がゆるみなくしっかりと固定されていること、シートベルトが正しい場所を通っていること、ベースが座面から浮いたりしていないことなど、09のチェックリスト（10項目）の状態を常に確認して使用してください。



11

以下を参照して正しくお子さまを乗せてご使用ください。

参照 P57-63 ▶後ろ向き取り付けで使用する

12

取り外しは逆の手順で行います。取り外した本製品はお子さまが乗っていない場合でもそのままにせず、車外に出すようにしてください。

前向き取り付け

身長76cm~105cm かつ 生後15ヵ月を超えてから体重18kgまで (目安年齢※~4歳頃まで)

※目安年齢はあくまでも目安です。身長および体重で使用できるお子さまの条件をご確認ください。

⚠危険

生後 15 ヶ月を超えるまでは前向き取り付けでは使用しないこと

身長 76cm かつ 生後 15 ヶ月を超えるまでは本製品を前向き取り付けで使用しないでください。身長、月齢いずれか一方でも条件を満たさないお子さまは後ろ向き取り付けにご使用ください。

👉ポイント!

身長 76cm かつ 生後 15 ヶ月を超えたお子さまは本製品を前向きにして使用することができますが、後ろ向きの状態でも引き続き使用することができます。後ろ向きでの使用の方がより安全とされておりますので後ろ向きでの使用を推奨いたします。

01

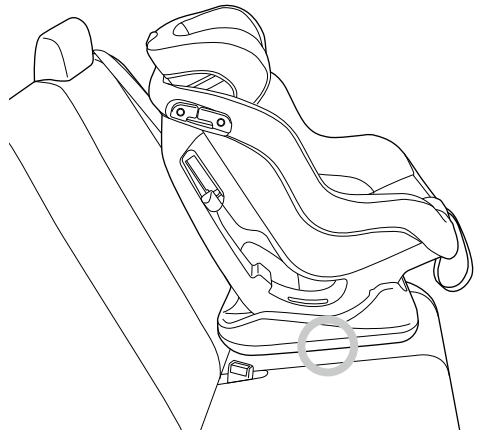
前向き取り付けではインファントインサートを使用しませんので、あらかじめ取り外しておきます。

参照 P33-35 ▶インファントインサート▶取り外し

02

本製品を取り付ける自動車の座席の左右中央に本製品を前向きにして置きます。

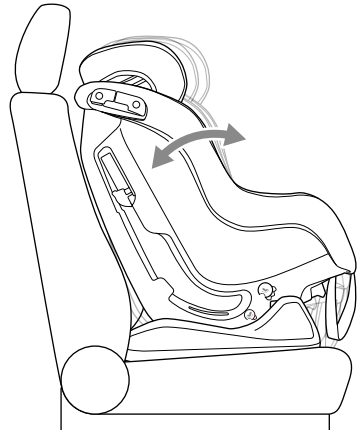
本製品の底面が座席の座面に接するようにしてください。




03

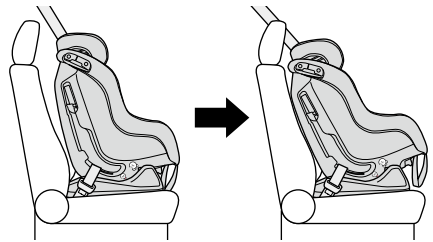
座席のシート背もたれの角度に合わせて、本製品のリクライニングを前向きポジション（3段階）のいずれかに調節します。シート背もたれの角度に最も近い角度に調節してください。

参照 P39-40 ▶リクライニング機構



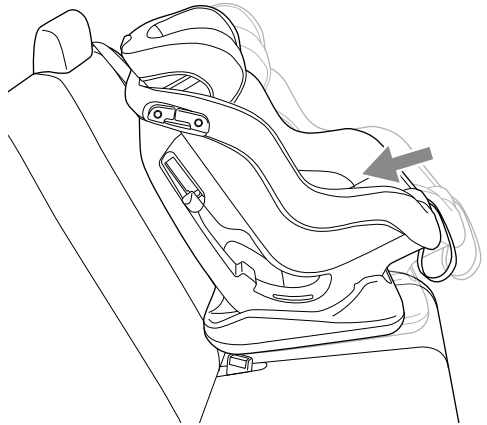
 ポイント！

前向き取り付け時は、座席のシート背もたれと本製品のシェル背面の角度を合わせて取り付けで使用します。本製品を取り付ける座席のシート背もたれの角度に応じてリクライニングを調節してください。また座席にリクライニング機構が装備されている場合はシート背もたれの角度も併せて調節して本製品のリクライニングの角度と最も近い角度に調節してください。



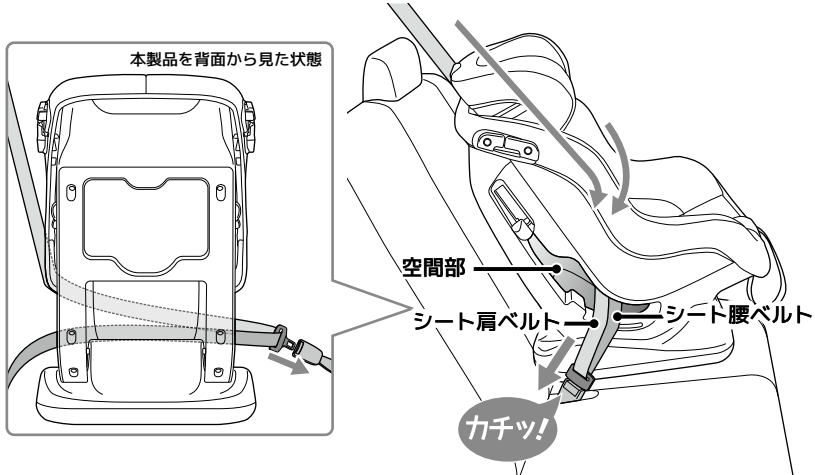
04

本製品をシート背もたれ側に押し付けます。

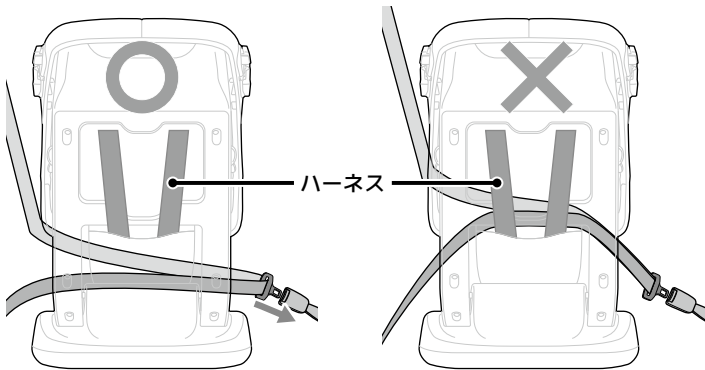


05

自動車のシートベルトを引き出して、シェル側面の空間部の反対側まで通して、シートベルトにねじれがないことを確認しシートタングをシートバックルに差し込んでカチッと音がするようにしっかりと留めます。



シートベルトは本製品のハーネス（肩ベルト）の上を通します。ハーネスの下側を通さないように注意してください。ハーネスがゆるんだ状態の場合まれにハーネスの下側を通ることがありますのでご注意ください。



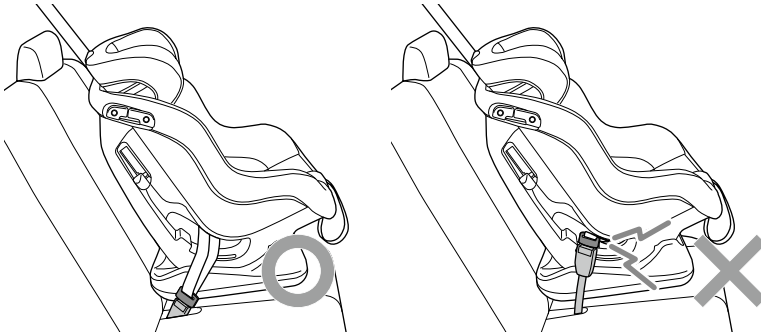
⚠危険

シートベルトをねじらないように注意してください

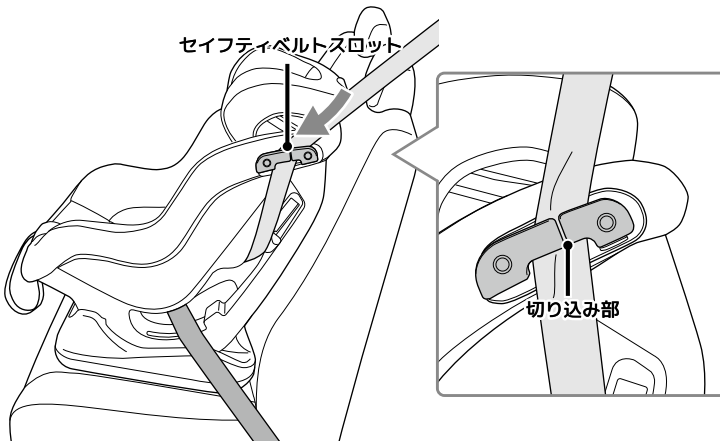
シートベルトにねじれがあると、本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。シートベルトをねじらないように注意してシートベルトのバックルを留めてください。ねじれが生じた場合、バックルが留まったままでは修正できませんのでシートベルトのバックルを外してもう一度留めなおしてください。

不適切なシートバックルでは使用しないこと

シートバックル（バックルのベルト）が長すぎる座席には取り付けないでください。シートバックルのベルトが長すぎたり、シートバックルの位置が高すぎたり、前過ぎたりすると、本製品に干渉してしっかりと取り付けができない場合があります。このような座席には取り付けないようにしてください。

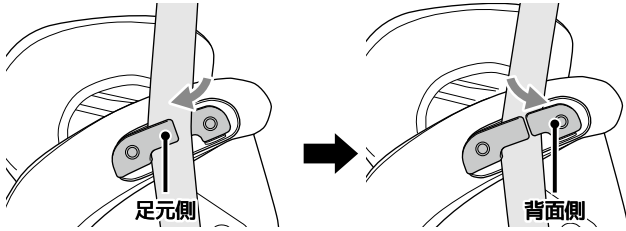
**06**

シートベルトの巻き取り装置側（シートバックルの反対側）のセーフティベルトスロットの切り込み部からシート肩ベルトを通します。図のように肩ベルトを完全にセーフティベルトスロットに通してください。



Stedi™ R129

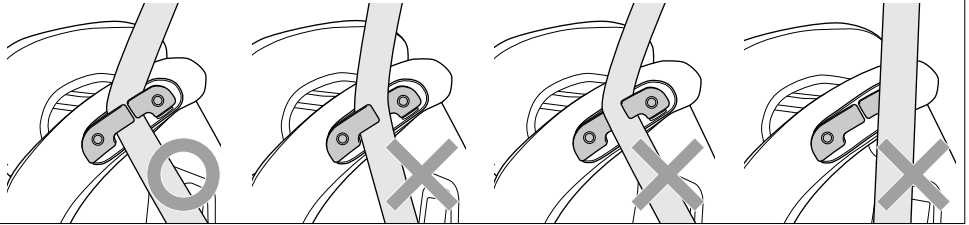
先にセイフティベルトスロットの前方（足元側）部分にシート肩ベルトを通して、次に後方（背面側）に通します。



⚠危険

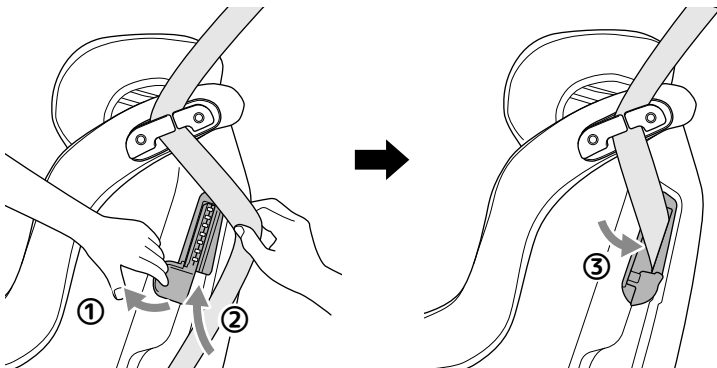
セイフティベルトスロットに肩ベルトを正しく通すこと

セイフティベルトスロットに正しくシート肩ベルトが通っていないと事故や衝撃を受けた際に本製品が外れて思わぬ事故につながるおそれがあります。



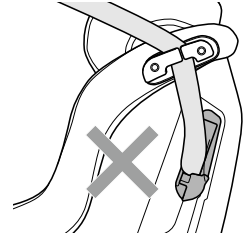
07

セイフティベルトスロットを通した側の①ロックオフデバイスを開いて、②シート肩ベルトを差し込み、③ロックオフデバイスを閉じます。シート肩ベルトを完全にロックオフデバイスの中に通すようにしてください。



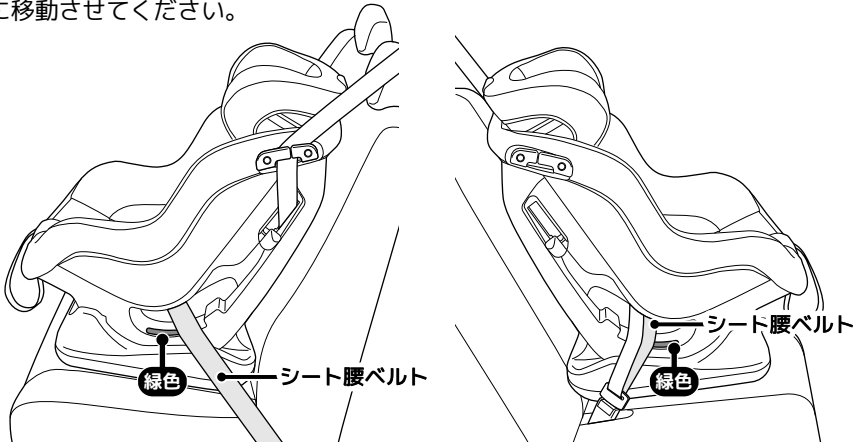
⚠危険

ロックオフデバイスにシート肩ベルトを正しく通すこと
 ロックオフデバイスに正しくシート肩ベルトが通っていないと
 事故や衝撃を受けた際に本製品が外れて思わぬ事故につながる
 おそれがあります。完全にシート肩ベルトが通った状態にして
 ロックオフデバイスを閉じてください。



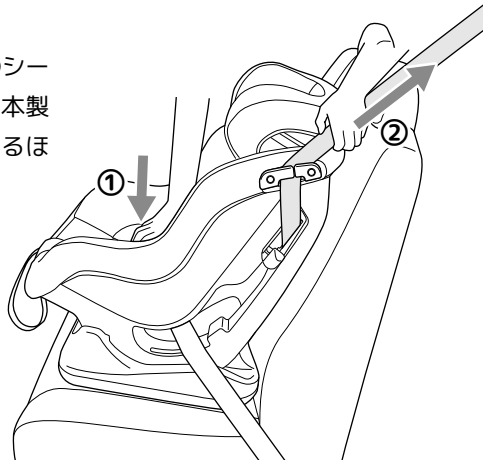
08

シート腰ベルトが本製品左右の腰ベルトパス（緑色のシールの部分）を通っていることを
 確認します。腰ベルトパスの位置からずれている場合は、シート腰ベルトを腰ベルトパス
 の上に移動させてください。



09

①本製品の座面部分を強く押し付けながら、②シート
 肩ベルトを締め付ける方向に強く引いて、本製
 品を自動車座席に固定します。強く締め付けるほ
 ど本製品はより安定します。



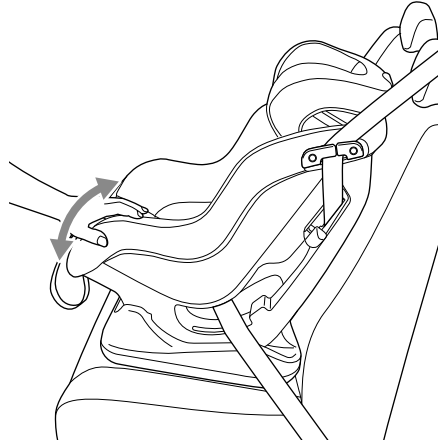
⚠注意

注意して操作すること

本製品の座面部分を押し付ける操作をす
 る際、ケガをするおそれがありますので
 受けバックルや差込みタングを押さない
 ようにしてください。

10


本製品を前後左右に軽く動かしてしっかりと固定されていることを確認してください。グラグラした感じがしたり本製品が3cm程度以上動く場合は、取り付けがゆるい状態ですので、シート肩ベルトをさらに締め付けてください。



 警告

取り付けの状態に注意すること

本製品を取り付けた後で座席のリクライニングを調節したり座席を前後に動かしたりすると、取り付けがゆるんだり本製品の角度が変わったりすることがありますので注意して操作してください。

 **ポイント!**

シートベルトをきつく締め付けるほど本製品はしっかりと固定されます。シートベルトにねじれがないことを確認して可能な限りシートベルトをきつく締め付けるようにしてください。

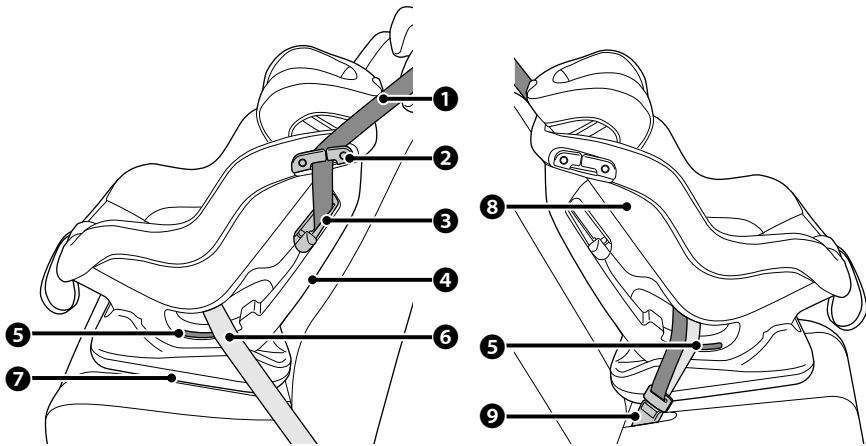
また使用中にシートベルトがゆるむことがありますので、適宜シートベルトの締め付け状態を確認してください。

車種、座席の種類によってはシートベルトで本製品を取り付けた後で座席を後ろ方向に移動させるとより本製品がきつく固定できる場合があります。ただし、このようなシートの場合は前方向に座席を移動させると取り付けがゆるみます。本製品の取り付け後の座席の位置、リクライニングの調節については本製品の取り付け状態に影響しますので、注意して操作するようにしてください。

11

以下のチェックリストを確認します。一つでも正しくない部分があれば正しい状態になるよう取り付けなおしてください。

本製品の使用中は正しい状態が維持されていることを適宜確認してください。

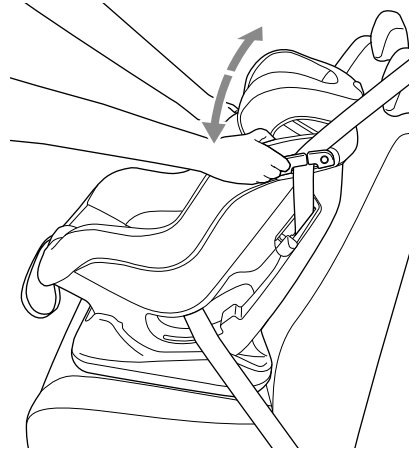


チェックリスト

- ① シート肩ベルトにねじれ、ゆるみがなく本製品をしっかりと固定していること。
- ② セイフティベルトスロットにシート肩ベルトが正しく通っていること。
- ③ ロックオフデバイスにシート肩ベルトが正しく通っていること。
- ④ シェルのリクライニングが「前向きポジション」に調節されていてシート背もたれの角度に近くなっていること。
本製品がしっかりとシート背もたれ側に押し付けられていること。
- ⑤ シート腰ベルトが左右の腰ベルトパスの部分を通っていること。
- ⑥ シート腰ベルトにねじれ、ゆるみがなく本製品をしっかりと固定していること。
- ⑦ ベースがシートの座面から浮いていないこと。
- ⑧ シートベルトが締め付けられ本製品がしっかりと座席に固定されていること。
- ⑨ シートベルトのバックルが正しくしっかりと留まっていること。

12

使用中に取り付け状態に変化が生じる場合があります。取り付け後は適宜本製品がゆるみなくしっかりと固定されていること、シートベルトが正しい場所を通っていること、ベースが座面から浮いたりしていないことなど、11のチェックリスト（9項目）の状態を常に確認して使用してください。



13

以下を参照して正しくお子さまを乗せてご使用ください。

参照 P64-70 ▶前向き取り付けで使用する

14

取り外しは逆の手順で行います。取り外した本製品はお子さまが乗っていない場合でもそのままにせず、車外に出すようにしてください。

お子さまの乗せかた

後ろ向き取り付け、前向き取り付けでお子さまの乗せかた（調節のしかた）が異なる部分があります。お子さまの安全のために取り付けの向きに応じて正しくお使いください。

⚠危険

正しい向きで使用する

お子さまの身長が 76cm 以上になり、かつ生後 15 ヶ月を超えるまでは後ろ向き取り付けでのみ使用可能です。前向き取り付けで使用してはいけません。

⚠警告

本製品のシートへの取り付けはお子さまを乗せずに行うこと

お子さまを乗せたままで本製品の取り付け、取り外しをしないで下さい。本製品が正しく取り付けできず、また、お子さまが落下するおそれもあります。

後ろ向き取り付けで使用する

身長40cm~105cm かつ 体重2.5kg~18kgまで （目安年齢※1 新生児※2~4歳頃まで）

※ 1. 目安年齢はあくまでも目安です。身長および体重で使用できるお子さまの条件をご確認ください。

※ 2. ここでいう新生児とは、体重 2.5kg 以上かつ在胎週数 37 週以上で出生したお子さまを指します。

01

本製品が後ろ向きで正しく自動車のシートに取り付けられていることを確認してください。

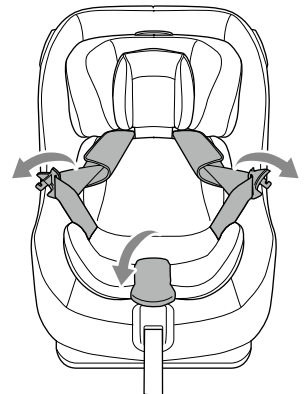
参照 P41-48 ▶後ろ向き取り付け

02

あらかじめハーネスをゆるめてバックルを外しておきます。

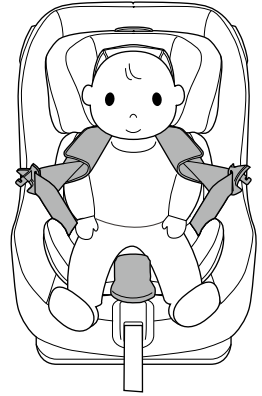
03


お子さまが受けバックルや差込みタングの上に座らないように左右の差込みタングをそれぞれ外側に出して、受けバックルを前に倒しておきます。



04

お子さまを楽な姿勢にして本製品に座らせます。背筋を伸ばして股ベルト（受けバックル）を両足の間に入れます。



 ポイント！

お子さまは楽な姿勢で座らせてください。座りかたが浅すぎたり深すぎたりしないようにご注意ください。



楽な姿勢



浅すぎる



深すぎる

 危険

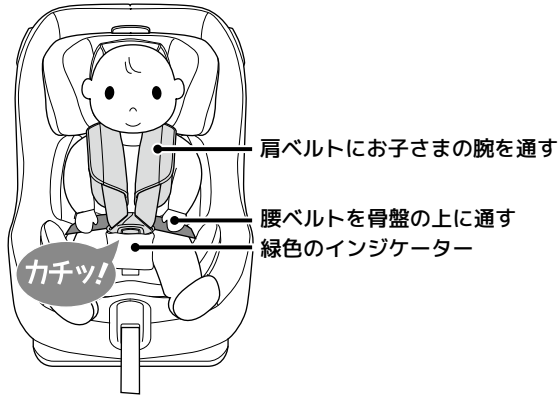
お子さまを正しい姿勢で乗せること

誤った姿勢で乗っているとお子さまを正しく固定できず事故や急制動の際に、お子さまが本製品から飛び出すなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。必ずお子さまを正しい姿勢で本製品に乗せてください。

05

ハーネスが十分にゆるんでいることを確認して肩ベルトにお子さまの腕を通します。

ハーネス、股ベルトにねじれがないことを確認して、肩ベルト（肩ベルトパッド）をお子さまの肩の部分に通し、腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通るようにしてカチッと音がするようにしっかりとバックルを留めます。バックルボタンの下部に緑色のインジケーターが表示されていることを確認してください。



警告

ハーネス、股ベルトをねじらないようにすること

ハーネスや股ベルトにねじれがあると本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。バックルを留める際には肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれがないことを確認してください。

ポイント！

ハーネスがきつい場合は無理にバックルを留めずハーネスをさらにゆるめてからバックルを留めます。次に記載の肩ベルトの高さの調節をおこなうとさらにハーネスが締め付けられるおそれがあります。

06

肩ベルトの高さを確認、調節します。

肩ベルトの高さを高い位置に調節するとハーネスが締め付けられますので、この時点でハーネスが締め付けられている場合はさらにハーネスをゆるめてください。

参照 P31 ▶ハーネスの長さ調節▶ゆるめかた▶01

Steady™ R129

後ろ向き取り付けで使用する場合は、肩ベルトの高さはお子さまの肩の位置と同じ高さから少し下までの位置に調節します。お子さまの頭部を支えて優しく調節してください。肩ベルトの高さ（ヘッドサポートの高さ）は6段階で調節可能ですので適切な段階に調節してください。



参照 P32-33 ▶ヘッドサポート・肩ベルトの高さ調節

👉ポイント！

前向き取り付けの場合は、適切な高さが異なります。

肩ベルトの高さは毎回調節する必要はありませんが、適切な高さになっているか使用毎に確認するようにしてください。

インファントインサートを調節した場合は肩ベルトの高さ調節が必要となります。またお子さまの成長に合わせて適宜調節してください。

⚠危険

肩ベルトの高さは適切に調節すること

肩ベルトの高さは必ず適切な高さに調節してください。肩ベルトの高さが適切でないと、事故や衝撃を受けた際にお子さまが本製品から飛び出したり、ハーネスがお子さまの首に絡まるなどして重大な事故につながるおそれがあります。


⚠注意

やさしく、ゆっくりと操作すること

肩ベルトの高さ調節はお子さまに負担がかからないように、やさしく、ゆっくりと操作してください。

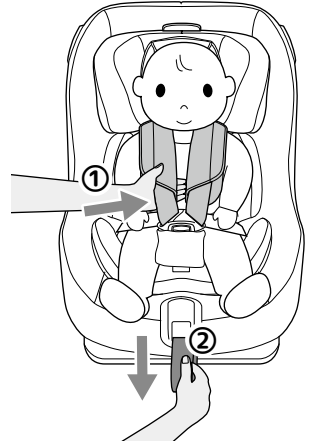
07

肩ベルトを適切な高さに調節したら、肩ベルトとお子さまの間に①片手の掌を差し込んで、②別の手でアジャスターベルトをゆっくりと引いてハーネスを締めつけます。差し込んだ掌が肩ベルトとお子さまの身体の間に挟まれるまで締め付けるようにします。

 **ポイント!**

締め付けすぎた場合はベルトアジャスターを使ってハーネスをゆるめてから締めなおしてください。

参照 P31-32 ▶ハーネスの長さ調節



⚠危険

アジャスターベルトは慎重にゆっくりと操作すること

ハーネスが強く締めすぎるとおそれがありますのでアジャスターベルトを勢よく引っ張らないでください。

強くハーネスが締まるほどお子さまの保護は強くなりますが、強く締めすぎるとお子さまが苦しくなってしまいます。逆に、締め付けがゆるすぎると使用中にハーネスがお子さまから外れたり、衝撃を受けた際にお子さまが飛び出したりするおそれがあります。必ず適切な強さで締め付けるようにしてください。

08

ハーネスが正しい状態になっていることを確認してください。

肩ベルト（肩ベルトパッド）がお子さまの肩を通り、腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通るように必ず確認して正しくなるように調節してください。

肩ベルトにズレがないこと



腰ベルトは骨盤の上を通す



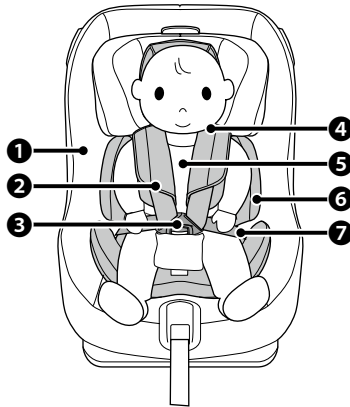
⚠危険

ハーネスを正しい状態にすること

肩ベルトが腕の位置や頸部を圧迫する位置を通っていたり、腰ベルトがお子さまの腹部や大腿部の位置を通っていると、事故や衝撃を受けた際に思わぬ事故につながるおそれがあるばかりか通常の使用時においてもお子さまに危険がおよぶおそれがあります。ハーネスは必ずゆるみやねじれがないように正しい状態で装着して、使用中もハーネスがずれたりしていないか適宜確認するようにしてください。

09

以下のチェックリストを確認して、正しい状態になっていることを確認してください。正しい状態になっていない部分がある場合は、正しい状態にしてから本製品を使用してください。



チェックリスト

- ① 本製品が適切に後ろ向き取り付けで座席に固定されて必要な調節がなされていること。
- ② 肩ベルト（肩ベルトパッド）がお子さまの肩の部分を通っていること。
肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれがなくハーネスがしっかりと締め付けられていること。
肩ベルト（肩ベルトパッド）がお子さまの肩の部分を通っていること。
- ③ バックルがしっかりと留まっていること。
バックルボタン下に緑色のインジケーターが表示されていること。
- ④ 肩ベルトが適切な高さに調節されていること。
- ⑤ お子さまが正しい姿勢で座っていること。
- ⑥ インファントインサートが正しく取り付けられていること（生後6カ月頃まで体格が合う場合はすべてのインファントインサートを取り付けての使用を推奨します）。
- ⑦ 腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通っていること。

10

本製品の使用中にはハーネスがゆるんだりせず、お子さまがハーネス、股ベルトを正しく装着できていることを適宜確認してください。また、お子さまにはバックルを触らないよう言い聞かせてください。

⚠ 危険

バックルが外れると大変に危険です

バックルはお子さまには外しにくいように操作がかために設計されていますが、お子さまが成長すると自ら外してしまうおそれがあります。

本製品の使用中は乗り降り時を除いて、バックルに触れたり、バックルを外したりしないよう普段から言い聞かせるようにしてください。



11

お子さまを降ろすには、バックルを外してお子さまの腕を肩ベルトから抜いてゆっくりとお子さまを降ろしてください。

⚠ 警告

お子さまを勢いよく降ろさないこと

勢いよくお子さまを降ろすと、お子さまが肩ベルトから完全に腕が抜けていない場合などに重大な事故につながるおそれがあります。お子さまが肩ベルトなどに引っかからないように注意しながら、お子さまをゆっくりと降ろすようにしてください。

前向き取り付けで使用する

身長76cm~105cm かつ 生後15ヵ月を超えてから体重18kgまで (目安年齢※~4歳頃まで)

※目安年齢はあくまでも目安です。身長および月齢、体重で使用できるお子さまの条件をご確認ください。

 危険

生後 15 ヶ月を超えるまでは前向き取り付けでは使用しないこと

お子さまの身長が 76cm 以上になり、かつ生後 15 ヶ月を超えるまでは後ろ向き取り付けでのみ使用可能です。前向き取り付けで使用してはいけません。

01

本製品が前向きで正しく自動車のシートに取り付けられていることを確認してください。

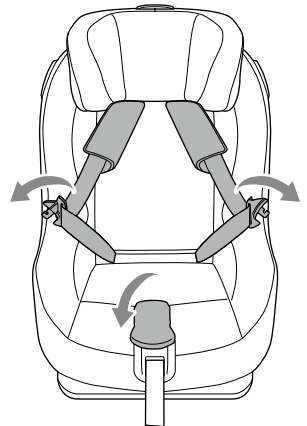
参照 P48-56 ▶前向き取り付け

02

あらかじめハーネスをゆるめてバックルを外しておきます。

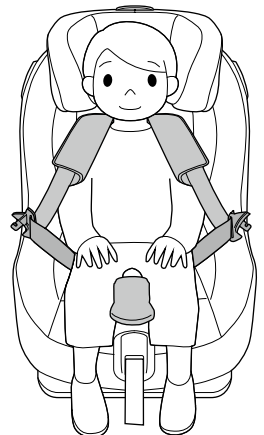
03

お子さまが受けバックルや差込みタングの上に座らないように左右の差込みタングをそれぞれ外側に出して、受けバックルを前に倒しておきます。



04

お子さまを楽な姿勢にして本製品に座らせます。背筋を伸ばして股ベルト（受けバックル）を両足の間に入れます。



👉 ポイント！

お子さまは楽な姿勢で座らせてください。座りかたが浅すぎたり深すぎたりしないようにご注意ください。



⚠️ 危険

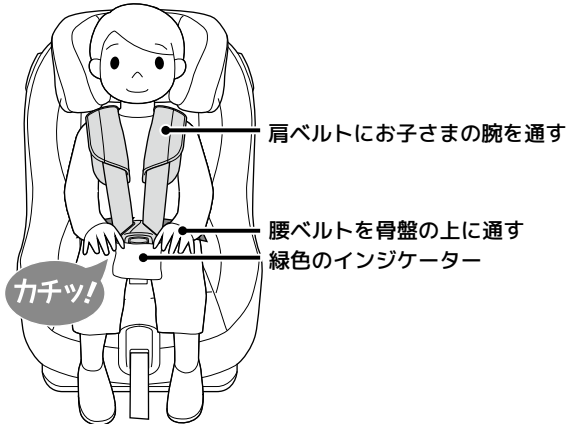
お子さまを正しい姿勢で乗せること

誤った姿勢で乗っているとお子さまを正しく固定できず事故や急制動の際に、お子さまが本製品から飛び出すなどして思わぬ事故につながるおそれがあります。必ずお子さまを正しい姿勢で本製品に乗せてください。

05

ハーネスが十分にゆるんでいることを確認して肩ベルトにお子さまの腕を通します。

ハーネス、股ベルトにねじれがないことを確認して、肩ベルト（肩ベルトパッド）をお子さまの肩の部分に通し、腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通るようにしてカチッと音がするようにしっかりとバックルを留めます。バックルボタンの下部に緑色のインジケーターが表示されていることを確認してください。





ハーネス、股ベルトをねじらないようにすること

ハーネスや股ベルトにねじれがあると本製品が所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。バックルを留める際には肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれないことを確認してください。

👉ポイント！

ハーネスがきつい場合は無理にバックルを留めずハーネスをさらにゆるめてからバックルを留めます。次に記載の肩ベルトの高さ調節をおこなうとさらにハーネスが締め付けられるおそれがあります。

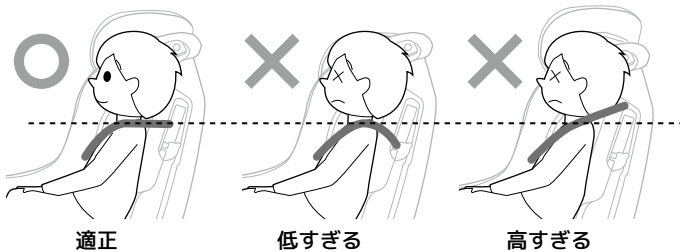
06

肩ベルトの高さを確認、調節します。

肩ベルトの高さを高い位置に調節するとハーネスが締め付けられますので、この時点でハーネスが締め付けられている場合はさらにハーネスをゆるめてください。

参照 P31 ▶ハーネスの長さ調節▶ゆるめかた▶01

前向き取り付けで使用する場合は、肩ベルトの高さはお子さまの肩の位置と同じ高さの位置に調節します。お子さまの頭部を支えて優しく調節してください。肩ベルトの高さ（ヘッドサポートの高さ）は6段階で調節可能ですのでお子さまの肩の高さと同じ高さになる段階に調節してください。



参照 P32-33 ▶ヘッドサポート・肩ベルトの高さ調節

👉ポイント！

後ろ向き取り付けの場合と異なり、肩ベルトの高さはお子さまの肩と同じ高さにして使用します。

肩ベルトの高さは毎回調節する必要はありませんが、適切な高さになっているか使用毎に確認するようにしてください。

またお子さまの成長に合わせて適宜調節してください。

⚠危険

肩ベルトの高さは適切に調節すること

肩ベルトの高さは必ず適切な高さに調節してください。肩ベルトの高さが適切でないと、事故や衝撃を受けた際にお子さまが本製品から飛び出したり、ハーネスがお子さまの首に絡まるなどして重大な事故につながるおそれがあります。

⚠注意

やさしく、ゆっくりと操作すること

肩ベルトの高さ調節はお子さまに負担がかからないように、やさしく、ゆっくりと操作してください。

07

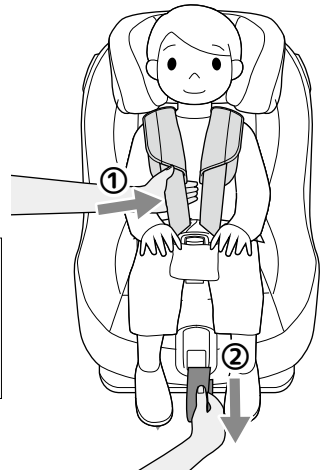
肩ベルトを適切な高さに調節したら、肩ベルトとお子さまの間に①片手の掌を差し込んで、②別の手で**アジャスターベルト**をゆっくりと引いてハーネスを締めつけます。

差し込んだ掌が肩ベルトとお子さまの身体の間にはさまれるまで締め付けるようにします。

👉ポイント！

締め付けすぎた場合はベルトアジャスターを使ってハーネスをゆるめてから締めなおしてください。

参照 P31-32 ▶ハーネスの長さ調節



⚠危険

アジャスターベルトは慎重にゆっくりと操作すること

ハーネスが強く締めすぎるとおそれがありますのでアジャスターベルトを勢いよく引っ張らないでください。

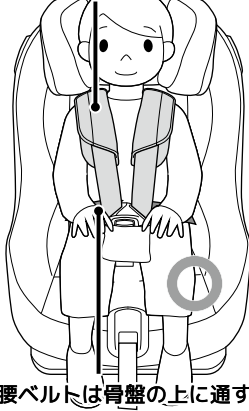
強くハーネスが締まるほどお子さまの保護は強くなりますが、強く締めすぎるとお子さまが苦しくなってしまいます。逆に、締め付けがゆるすぎると使用中にハーネスがお子さまから外れたり、衝撃を受けた際にお子さまが飛び出したりするおそれがあります。必ず適切な強さで締め付けるようにしてください。

08

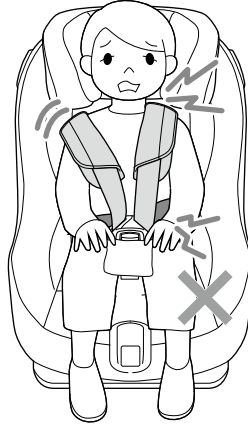
ハーネスが正しい状態になっていることを確認してください。

肩ベルト（肩ベルトパッド）がお子さまの肩を通り、腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通るように必ず確認して正しくなるように調節してください。

肩ベルトにズレがないこと



腰ベルトは骨盤の上を通す



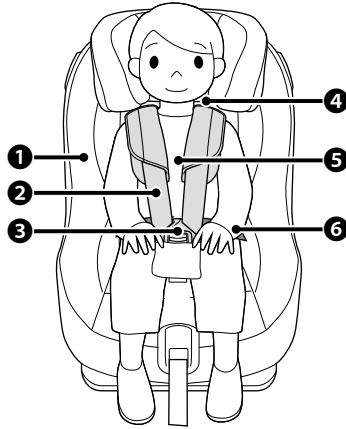
⚠危険

ハーネスを正しい状態にすること

肩ベルトが腕の位置や頸部を圧迫する位置を通過していたり、腰ベルトがお子さまの腹部や大腿部の位置を通過していると、事故や衝撃を受けた際に思わぬ事故につながるおそれがあるばかりか通常の使用時においてもお子さまに危険がおよぶおそれがあります。ハーネスは必ずゆるみやねじれがないように正しい状態で装着して、使用中もハーネスがずれたりしていないか適宜確認するようにしてください。

09

以下のチェックリストを確認して、正しい状態になっていることを確認してください。
正しい状態になっていない部分がある場合は、正しい状態にしてから本製品を使用してください。



チェックリスト

- ① 本製品が適切に前向き取り付けで座席に固定されて必要な調節がなされていること。
インファントインサートが取り外されていること。
- ② 肩ベルト（肩ベルトパッド）がお子さまの肩の部分を通っていること。
肩ベルト、腰ベルト、股ベルトにねじれがなくハーネスがしっかりと締め付けられていること。
肩ベルト（肩ベルトパッド）がお子さまの肩の部分を通っていること。
- ③ バックルがしっかりと留まっていること。
バックルボタン下に緑色のインジケーターが表示されていること。
- ④ 肩ベルトが適切な高さに調節されていること。
- ⑤ お子さまが正しい姿勢で座っていること。
- ⑥ 腰ベルトがお子さまの骨盤の上を通っていること。

10

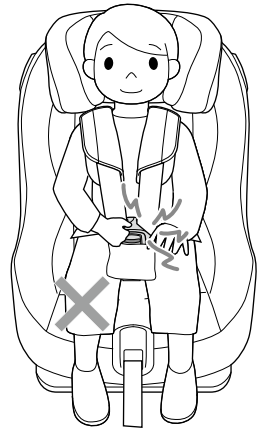
本製品の使用中にはハーネスがゆるんだりせず、お子さまがハーネス、股ベルトを正しく装着できていることを適宜確認してください。また、お子さまにはバックルを触らないよう言い聞かせてください。

⚠ 危険

バックルが外れると大変に危険です

バックルはお子さまには外しにくいように操作がかために設計されていますが、お子さまが成長すると自ら外してしまうおそれがあります。

本製品の使用中は乗り降り時を除いて、バックルに触れたり、バックルを外したりしないよう普段から言い聞かせるようにしてください。



11

お子さまを降ろすには、バックルを外してお子さまの腕を肩ベルトから抜いてゆっくりとお子さまを降ろしてください。

⚠ 警告

お子さまを勢いよく降ろさないこと

勢いよくお子さまを降ろすと、お子さまが肩ベルトから完全に腕が抜けていない場合などに重大な事故につながるおそれがあります。お子さまが肩ベルトなどに引っかからないように注意しながら、お子さまをゆっくりと降ろすようにしてください。

お手入れのしかた

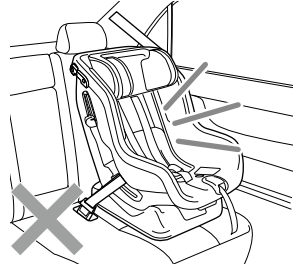
本製品では、お手入れのためにカバー類、肩ベルトパッド、股ベルトパッドを取り外すことができます。

お手入れ後は、取り外したカバー類、肩ベルトパッド、股ベルトパッドを必ず元に戻してください。

⚠警告

カバー類や肩ベルトパッド、股ベルトパッド、その他の部品を外して使用しないこと

チャイルドシートが所定の安全性能を発揮できなくなるおそれがあります。本取扱説明書で別段の指示がない限り部品を取り外して使用しないでください。カバー類、肩ベルトパッド、股ベルトパッド、ウレタン、衝撃吸収材も安全に関わる重要な部品ですので決して取り外して使用しないでください。また同様にチャイルドシートに貼られているラベルやシールも安全に関わる重要な部品ですので決してはがさないでください。



カバー類を外した状態の本製品はお子さまの手の届かない場所で保管すること。カバー類を取り外すとシェルの内部機構が見える状態になります。内部機構でお子さまがケガをするおそれがありますので、お手入れの間はお子さまの手の届かない場所で保管してください。

ハーネスの機構やその他の機構に手を加えたり触らないようにしてください。また内部にゴミなどが入ると誤作動につながるおそれがありますので、カバー類を取り外したシェルには毛布を被せるなどしておいてください。

パッド類、カバー類、インファントインサートの取り外し

⚠注意

慎重に作業してください

パッド類、カバー類、インファントインサートの取り外し、取り付けに際して引っかかった感じがする場合は無理をせず引っかかった場所がないか確認するようにしてください。ヘッドサポートおよびシェルの内側に取り付けられている、衝撃吸収材、ウレタン等に傷をつけないように注意してください。

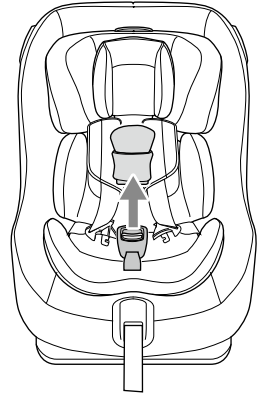
股ベルトパッド

01

バックルを外して、受けバックル（股ベルト）から股ベルトパッドを抜き取ります。股ベルトパッドはゴムバンドで股ベルトに留められていますので、ゴムバンドから抜いて取り外してください。

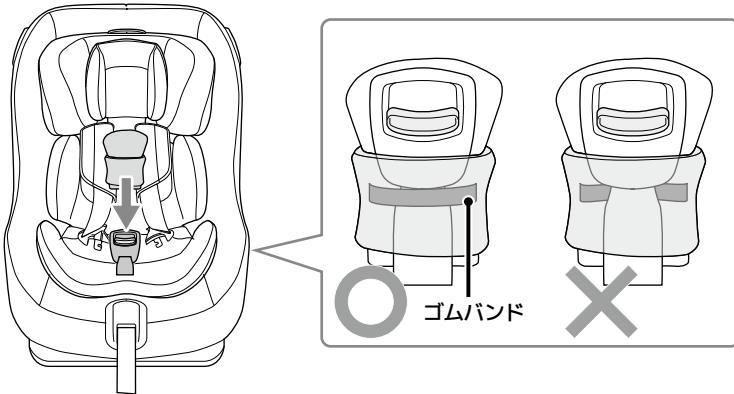
⚠危険

股ベルトパッドを取り付けて使用すること
股ベルトパッドを取り外した場合は、股ベルトパッドは必ず取り付けなおしてください。



02

股ベルトパッドの取り付けは逆の手順で行います。股ベルト（受けバックル）を股ベルトパッド内のゴムバンドに通して取り付けます。



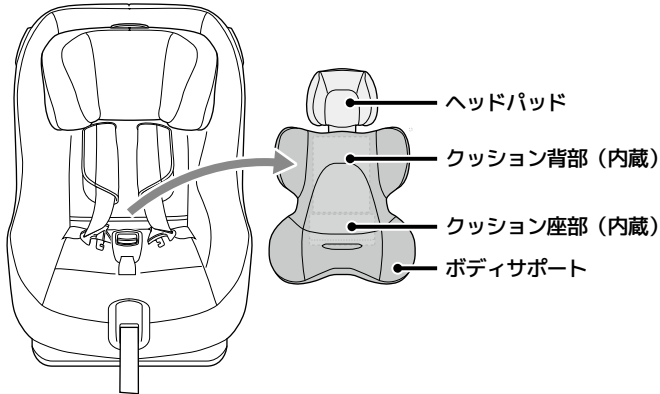
👉ポイント！

インファントインサートを使用する場合は、先にインファントインサートを取り付けてから股ベルトパッドを取り付けてください。

インファントインサート

以下を参照して取り外します。クッション（背部、座部）は洗濯できませんので、お手入れの際には取り外してください。

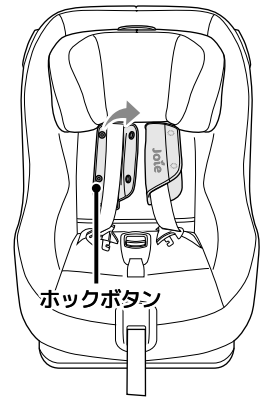
参照 P33-37 ▶インファントインサート



肩ベルトパッド

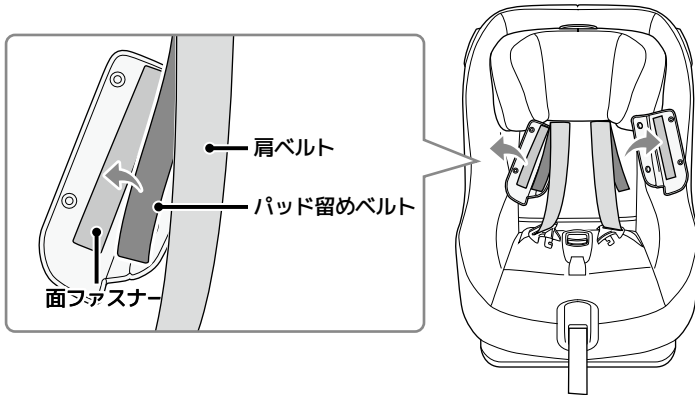
01

肩ベルトパッドのホックボタンを外して開きます。左右の肩ベルトパッドとも同じようにしてください。



02

肩ベルトパッドを留めている、パッド留めベルト（肩ベルトの下に重ねられています）の面ファスナーを外して肩ベルトパッドを取り外します。左右とも同じようにして取り外してください。

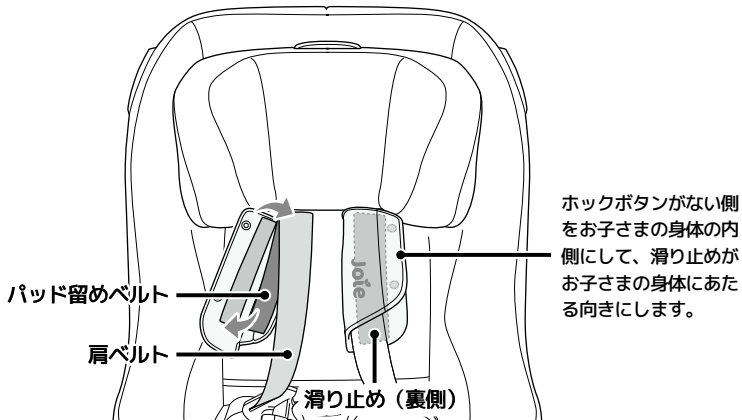


03

肩ベルトパッドの取り付けは逆の手順で行ってください。

肩ベルトパッドには左右があります。ホックボタンのない側をお子さまの身体の内側にし、滑り止めがお子さまの身体にあたる向きにします。

左右を確認して面ファスナーの位置を合わせて肩ベルトに重ねてある（下側）パッド留めベルトに留めてください。



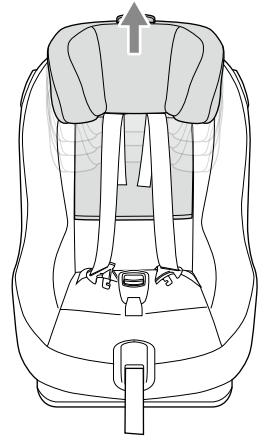
ヘッドサポートカバー

01

ハーネスをゆるめて、ヘッドサポートを最も高い位置に調節します。

参照 P31 ▶ハーネスの長さ調節▶ゆるめかた▶01

参照 P32-33 ▶ヘッドサポート・肩ベルトの高さ調節



02

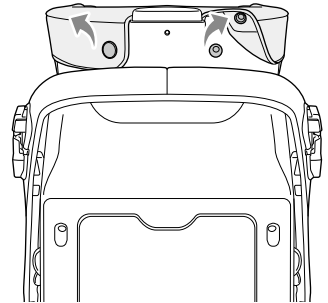
ヘッドサポートの後部に留めてある左右のホックボタンを外します。左右とも外してください。



ポイント!

ヘッドサポートを高い位置に調節しないとホックボタンは見えません。

本製品を背面から見た状態



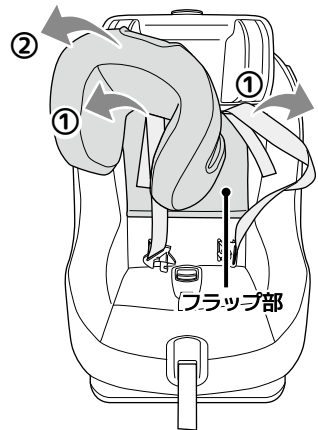
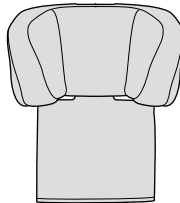
03

ヘッドサポートのカバーを前方にめくってヘッドサポートから外して、①左右の肩ベルト（パッド留めベルト）をヘッドサポートカバーのフラップ部の隙間から抜いて、②ヘッドサポートのカバーを取り外します。



ポイント!

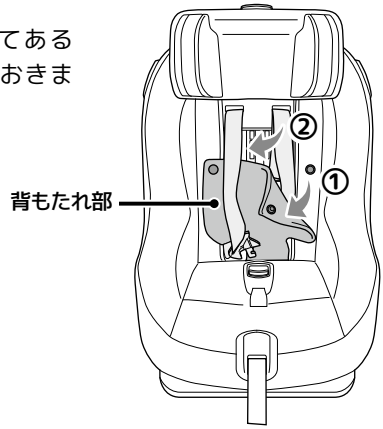
ヘッドサポートのカバー部とフラップ部は一体構造です。



シートカバー

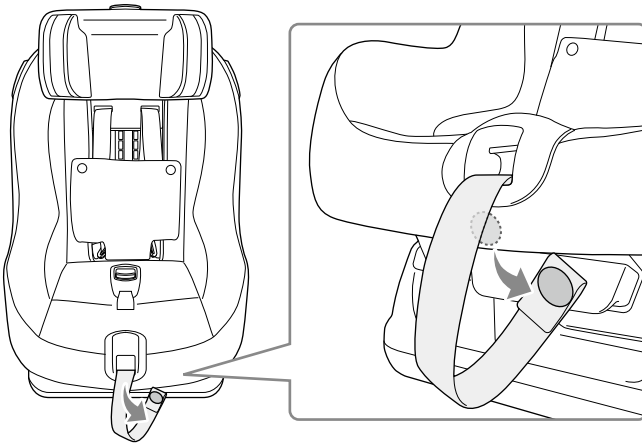
01

①シートカバーの背もたれ部の中央左右に留めてある
 ホックボタンを外して、②ハーネスを内側にしておきま
 す。左右とも同じようにしてください。



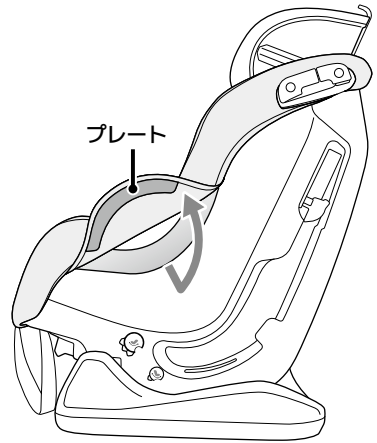
02

①シートカバー前端部をめくって、②裏側でアジャスターベルトの先端を留めている面
 ファスナーを外します。



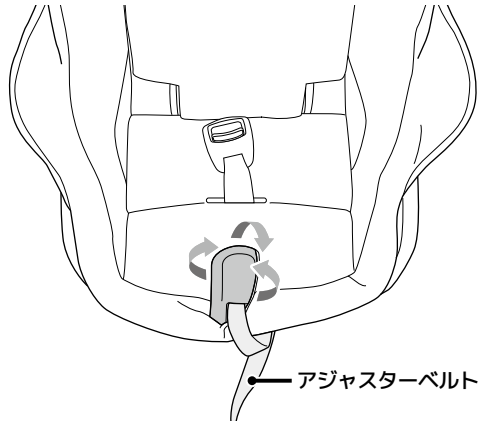
03

シェルの左右の縁に掛けてあるシートカバーのプレートを外します。左右とも外してください。



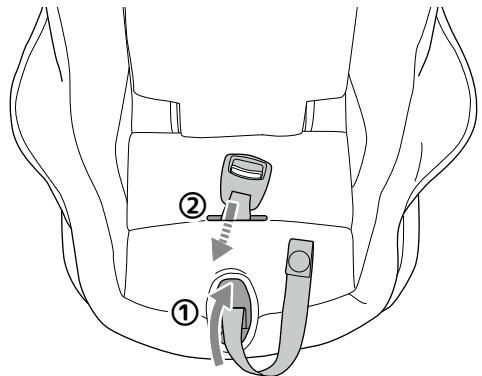
04

先端部のアジャスターベルトの取り出し口（ベルトアジャスター部）の縁に挟み込まれているシートカバーの生地を外します。



05

① 04 で外した生地の開口部からアジャスターベルトを、②通し穴から股ベルトと受けバックルをそれぞれ内側に抜きます。



06

シートカバー上部左右の開口部からセーフティベルトスロットを抜きます。左右とも抜いてください。

セーフティベルトスロット



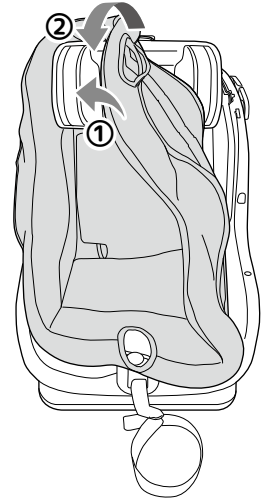
07

①ヘッドサポートをシートカバーの開口部から抜いて②後方から前方にシートカバーを取り外します。



ポイント！

シートカバーが取り外しにくい場合は、ヘッドサポートを高い位置に調節すると取り外しがしやすくなります。



パッド類、カバー類、インファントインサートを取り付ける

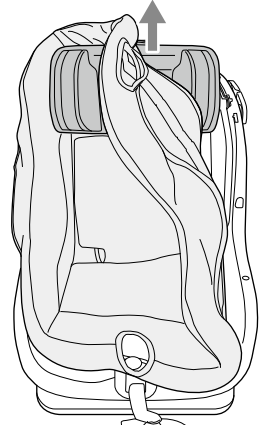
パッド類、カバー類はそれぞれ取り外しの逆の手順で取り付けます。
インファントインサートは、必要に応じて取り付け、調節してください。

参照 P12 ▶使用できるお子さまの条件▶インファントインサートの使用

参照 P33-37 ▶インファントインサート

👉ポイント！

シートカバーの取り付けの操作およびヘッドサポートカバーを取り付ける際はヘッドサポートを高い位置に調節してください。ヘッドサポートが低い状態ではシートカバー、ヘッドサポートカバーを取り付けることができません。



縫製品のお手入れ

パッド類、カバー類、インファントインサート

取り外した、肩ベルトパッド、股ベルトパッド、シートカバー、ヘッドサポートカバー、インファントインサートは以下の表示に従ってお手入れしてください。

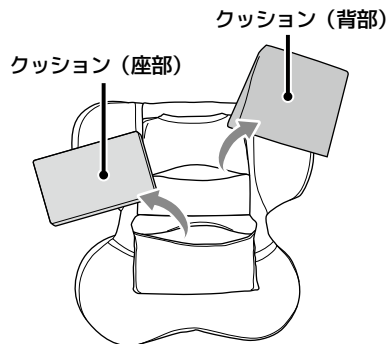
⚠️注意

指定外の方法で洗濯しないこと

指定外の方法で洗濯すると、破損や破れ、型崩れ、縮みの原因になります。

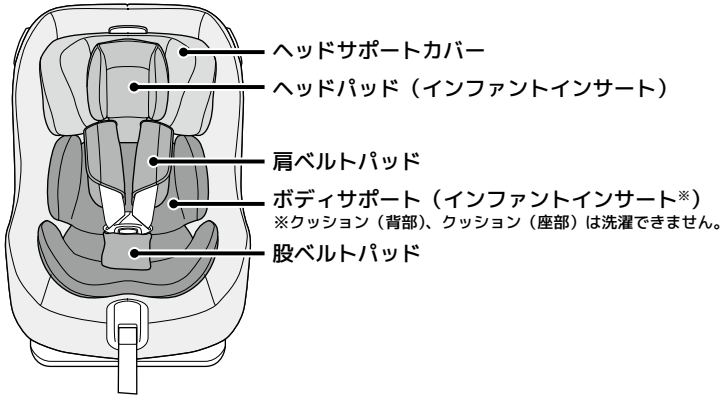
ボディサポートのクッション（背部）（座部）は洗濯できません

ソフトパッドのクッションは洗濯前に取り外してください。変形、変質するおそれがありますので、お手入れする場合は水に浸さずにブラシで汚れを落とすか、水に浸しよく絞った柔らかい布で汚れをふき取るようにしてください。



01

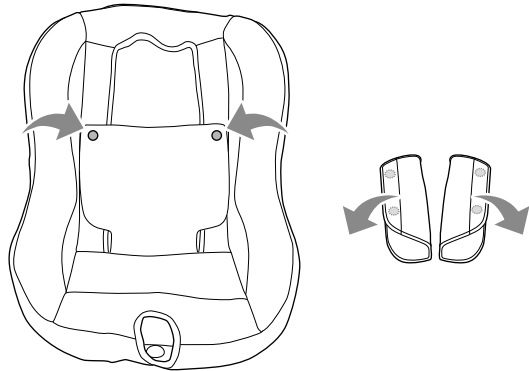
下図に示すパッド類、カバー類、インファントインサートが洗濯可能です。



02

留められるホックボタンは留めて洗濯してください。

- 肩ベルトパッドのホックボタン
- シートカバーのホックボタン




03

30℃以下の水で洗濯できます。

軽く絞って、形を整え、陰干してください。

よく乾かしてから取り付けてください。

洗濯機を使用する場合は洗濯ネットに入れてください。

 **ポイント!**

汚れがひどい場合には薄めた中性洗剤を使用してください。洗剤を使用した場合は真水でよくすすぎ洗剤を完全に落としてください。

⚠ 注意**アイロンは使用しないでください**

破損、縮みの原因となります。

タンブラー乾燥はしないでください

破損、縮みの原因となります。乾燥機は使用しないでください。

漂白剤は使用できません

劣化を早め、変退色の原因となります。

ドライクリーニングしないでください

劣化を早め、変退色の原因となります。商業クリーニングはお避け下さい。

有機溶剤を使用しないでください

ガソリン、シンナーなどの有機溶剤は使用しないでください。変質、破損のおそれがあります。

きつく絞らないでください

型崩れ、変形、シワの原因となります。

シエル、ベースのお手入れ

⚠ 危険**潤滑剤、有機溶剤、原液の洗剤を絶対に使用しないこと**

お手入れ、メンテナンス時にシリコンオイル、グリース、ミシン油などの潤滑剤、ガソリンなどの有機溶剤、原液の洗剤を絶対に使用しないでください。これらが付着すると本製品を変質、破損させたり本製品が安全に機能しなくなるおそれがあります。特にヘッドサポートおよびシエルの内側、クッションに取り付けてある、衝撃吸収材、ウレタン等は、有機溶剤に触れると溶解、変質するおそれがありますのでご注意ください。

⚠ 警告**水を直接かけないでください**

サビが発生して本製品が正常に機能しなくなるおそれがあります。水分を使用してお手入れした場合はしっかりと乾燥させてください。

樹脂部分

01

お湯または水に浸してきつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。汚れがひどい場合には水で薄めた中性洗剤を浸してきつく絞った柔らかい布で汚れをふき取ってください。洗剤を使用した場合はお手入れ後に洗剤をしっかりとふき取ってください。

⚠注意

ウェットタオル（ウェットティッシュ）は使用しないでください

市販のウェットタオル（ウェットティッシュ）や赤ちゃんのお尻ふきは樹脂部分のお手入れに使用しないでください。

含まれる成分によっては樹脂が劣化、変質するおそれがあります。

👉ポイント！

除菌、消臭剤も含まれる成分によっては、樹脂やウレタン、衝撃吸収材に影響を与えるおそれがありますのでご注意ください。

金属部分

お湯または水に浸してきつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。差込みタンク、受けバックルを除く金属部分に付着した食べかすなどの油分を含む汚れを落とす場合には、水で薄めた中性洗剤を浸してきつく絞った柔らかい布で汚れをふき取ってください。洗剤を使用した場合はお手入れ後に洗剤をしっかりとふき取ってください。

ハーネス、ベルト類

ハーネス、股ベルト、アジャスターベルトは取り外しできません。
お湯または水に浸してきつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。洗剤類は使用しないでください。

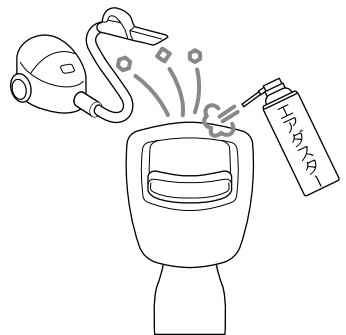
バックル（受けバックル、差込みタンク）

01

バックル類は取り外しできません。
お湯または水に浸してきつく絞った柔らかい布で汚れを拭きとってください。洗剤類は使用しないでください。

02

受けバックルの内側は市販のエアダスターを使用してゴミやほこりを吹き飛ばすか掃除機を使用して吸い取るようにしてください。



保管のしかた

長期間ご使用にならない場合は自動車から取り外しておいてください。

ゴミやほこりがバックル内に入らないように保管時もバックルは留めておくようにしてください。

直射日光の当たらない、寒暖差の激しくない、湿気の少ない室内で保管してください。

雨風のアたる場所や露天では保管しないでください。

廃棄のしかた

本製品を廃棄する際には、廃棄する自治体の指示に従って正しく廃棄するようにしてください。

また再利用による事故を防ぐため「廃棄品」と明示した上でシートカバーを破るなどして再利用を不可能な状態にして廃棄するようお願いいたします。

保証書

保証期間	お買い上げ日より1年間		
製品名	Joie チャイルドシート ステディR129		
お買い上げ日			
お客様	ご住所 〒 -	お買い上げ 販売店名	店名
	お名前		住所
	電話番号 -		電話番号

本製品の保証は、規定の内容に従いお買い上げ日から1年間有効となります。お買い上げ日やお買い上げいただいた販売店名が不明の場合保証の対象となりませんので、お買い上げいただいた際のレシートや領収書等を本取扱説明書と一緒に保管するようにしてください。

- 保証期間中に正常な使用状態において、万一故障が発生した場合には無償で修理いたします。ただし、ご購入時の初期不良の場合を除いて、修理に要する送料はお客様にご負担いただきます。
- 保証期間内であっても次のような場合には、有償での修理となります。
 - 本保証書原本の提示がない場合（コピーされた保証書は無効です）および記入事項の字句に書き換えが認められる場合
 - お客様ご自身が、本製品を新品でご購入されたことを証明できない場合
 - 本取扱説明書および製品本体に記載されている指示内容に従わなかったために生じた、故障、破損、不良の場合
 - 正常な使用、お手入れにより生じた傷や汚損、破損、日焼けによる表面の劣化、シートカバー類、ベルト類等縫製品のほつれの場合
 - 部品の紛失の場合
- 次のような場合には、安全のため、保証期間、有償、無償に関わらず修理することができません。
 - 事故や落下などの強い衝撃を受けたことにより生じた故障、破損、汚損の場合
 - 誤使用、または改造、不当な分解によって発生した故障、破損、汚損の場合
 - 本保証書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記載のない場合
 - 並行輸入品や海外で購入された製品の場合
 - 業務用、レンタル等、一般家庭外で使用されている場合
 - 中古品の場合
 - 本製品に貼り付けられているシール類がはがされている場合
 - 本製品の製造が終了し、修理に必要な部品が無い場合
- 本製品を正しく使用することにより生じた、自動車の座席表面やシートベルトの傷、取り付けあと等は保証いたしかねます。
- 一度でもご使用になった製品のお取り換えはできません。
- 保証は日本国内においてのみ有効です。

本書は再発行いたしませんので、大切に保管してください。

※製品は万全を期して製造しておりますが、万一不都合な点がございましたら弊社お客様サービスまでお問い合わせください。

※性能向上のため、予告なく仕様を変更する場合があります。

※本書に記載いただいた個人情報につきましては、個人情報保護法の規定を準拠し、本保証に関わる範囲においてのみ使用いたします。

（本製品に関するお問い合わせ先）

株式会社カトージ お客様サービス

電話：0568-67-5701 平日10~17時（土日祝日を除く）

www.katoji.co.jp

（Joie日本総代理店）

株式会社カトージ

〒484-0894 愛知県犬山市羽黒北金屋39-2

レシート等を貼り付けてください

Allison Baby UK Ltd,
Venture Point, Towers Business Park
Rugeley, Staffordshire, WS15 1UZ

Joie™

bring the kids™

Share the joy at joiebaby.com

0523RV1